

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いがたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Trinitron WEGA



KV-29DR5
KV-34DR5

見る

テレビ/BS放送を見る	4
画質を選ぶ(お好み画質).....	6
映像に合ったリアル高画質で見る (DRC-MFモード切換).....	7
節電しながら見る(消費電力).....	8
横長の画面にする(ワイドモード).....	9
テレビにつないだ機器の画像を見る	11

調整する/
設定する

画質を調整する	12
音質を調整する	14
音声を切り換える(二重音声).....	16
ハイビジョンの音声について	17
BS放送やハイビジョン放送を録画/予約録画する(BS固定).....	17
自動で電源を切る(オフタイマー).....	19
時刻を設定し表示する	19

テレビの接続と準備

付属品を確かめる	21
接続と準備の早わかり	22
手順1：テレビアンテナをつなぐ	24
手順2：BSアンテナをつなぐ	26
手順3：チャンネルを設定する	27
自動設定する	27
手動設定する	28
手順4：BS受信の設定をする	30
BSアンテナ電源を設定する	30
BSアンテナの向きを調整する	31
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ(10キー選局).....	33
画像の傾きを補正する	35

他機との接続

接続端子の名前とはたらき	36
ビデオをつなぐ	38
BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ	42
デジタルCSチューナーをつなぐ	45
テレビゲームをつなぐ	46
DVDプレーヤーをつなぐ	47
ハイビジョン機器をつなぐ	48
オーディオ機器をつなぐ	48

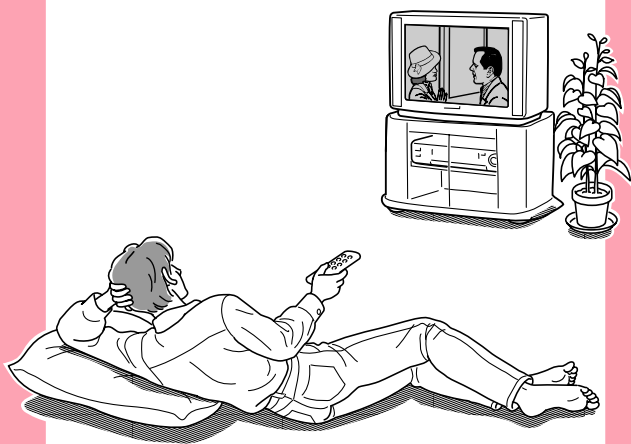
その他

故障かな?と思ったら	49
自己診断表示—画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら ...	49
本機の症状と対処のしかた	50
ブラウン管表面のお手入れについて	53
保証書とアフターサービス	53
主な仕様	54
用語集	55
各部の名前/Identifying parts and controls	56
メニュー一覧	58
索引	59

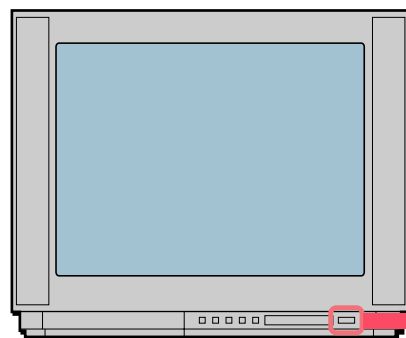
見る

ここでは、通常のテレビやBS放送をはじめ、ビデオやテレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときに操作を説明しています。

画質を選んだり、節電しながら見たり、横長の画面にしたりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。



テレビ/BS放送を見る



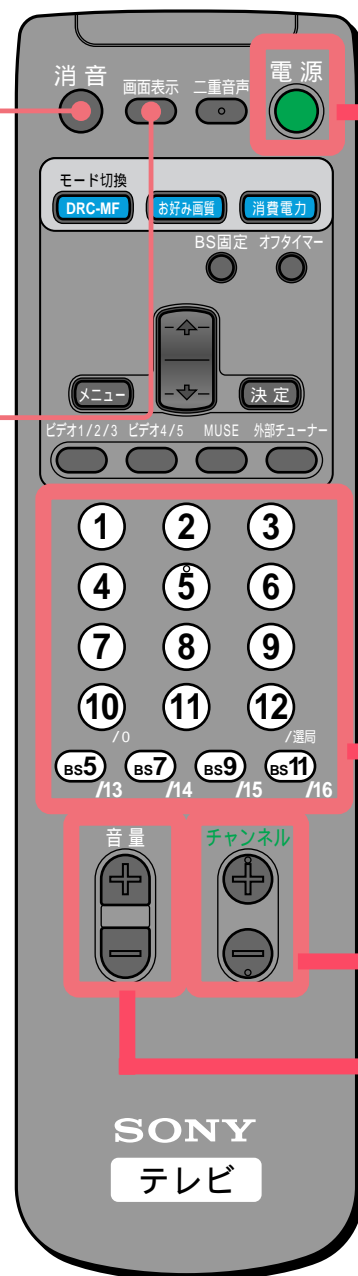
消音ボタン

一時的に音を消すときに押します。もう1度押すか、音量+ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン

チャンネル表示を出すときに押します。もう1度押すと表示は消えます。

チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに約10分間以上置くと光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。



ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタン、チャンネル+/- ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります(チャンネルポン機能)。

- 省電力のため、放送が終了して(または放送のないチャンネルにしたまま)約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

1 テレビの電源を入れる。



スタンバイ/オフタイマー



スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときはリモコンの電源スイッチを押す。

電源

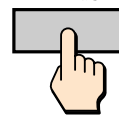


スタンバイ/オフタイマー



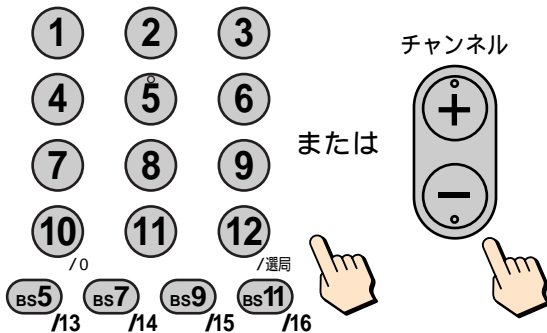
スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときはテレビ本体の電源スイッチを押す。

電源



2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/- ボタンでもチャンネルを選べます。



BS放送は以下のチャンネルになります。

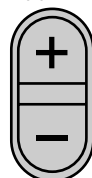
見たい放送	押すボタン
WOWOW (BS5)* ¹	BS5 /13
NHK衛星第一 (BS7)	BS7 /14
ハイビジョン放送 (BS9)* ²	BS9 /15
NHK衛星第二 (BS11)	BS11 /16

*¹ BSデコーダー (WOWOW) の電源を入れてください。なお、WOWOWは、別途WOWOWと受信契約し、専用のBSデコーダー (WOWOW) が必要です。

*² 本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターを通して通常のテレビ放送 (NTSC) と同じ画質で、見ることができます。1998年9月現在、BS9チャンネルで実用化試験局によるハイビジョン放送が行われています。

3 音量 +/- ボタンで音量を調節する。

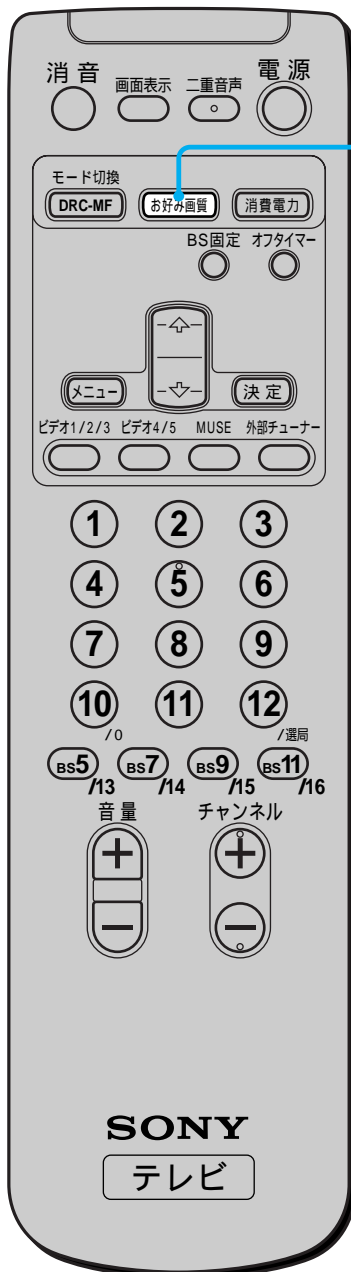
音量



画質を選ぶ

(お好み画質)

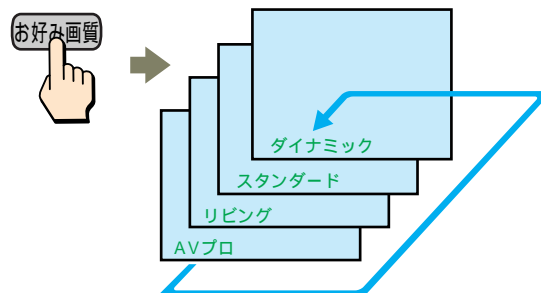
お好み画質ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。また、「リビング」や「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます(㊦12ページ)。ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選び、各調整項目を「標準」にしておくことをおすすめします。



お好み画質
ボタン

お好み画質ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の画質設定が表示されます。その後、押すたびに、次のように変わります。



ダイナミック

映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い画質になります。

スタンダード

明るめの部屋に合わせたコントラスト感のある画質になります。

リビング

明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます(㊦12ページ)。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた適度なコントラストのある画質になります。

AVプロ

色温度や黒補正など、よりきめ細かな調整ができます(㊦12ページ)。「標準」では、コントラストと輪郭強調を抑えて、オリジナルにできるかぎり忠実な、DRC(㊦7ページ)の性能をより引き出した画質になります。

映像に合ったリアル高画質で見る

(DRC-MFモード切換)

本機搭載の高画質回路「DRC-MF」(デジタル・リアリティー・クリエーション:マルチファンクション)で、大画面で気になる画像の粗さをなくし、きめ細かくて質感のあるリアルな画像を楽しめます。

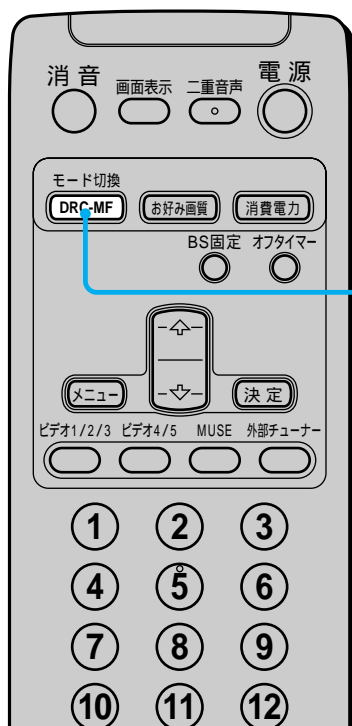
通常ご覧になるときは、お買い上げ時の設定であるDRC4倍密(標準)モードのまま、お楽しみください。よりきめ細かく自然な映像をお楽しみいただけます。静止画の文字などのチラツキが気になるときは、DRCプログレッシブモードに切り換えてください。

DRC4倍密(標準)モード

走査線を通常のNTSC映像の2倍の1050本にするとともに、水平方向の密度も2倍にした4倍密画像です。きめ細かく自然な映像にします。

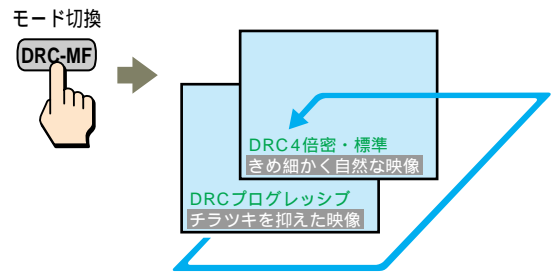
DRCプログレッシブモード

走査線525本の順次走査(プログレッシブ)を行い、チラツキを抑えた映像にします。



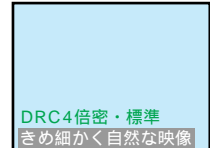
DRC-MF
モード切換
ボタン

DRC-MFモード切換ボタンをくり返し押す。

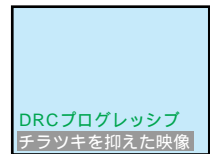


この画像のときは この画面表示を選ぶ


テレビやBS放送、ビデオなどの一般的な映像を見るとき



静止画の文字やグラフィックス、細かい横線などが多い映像で、部分的な映像の揺れやチラツキが気になるとき



ちょっと一言

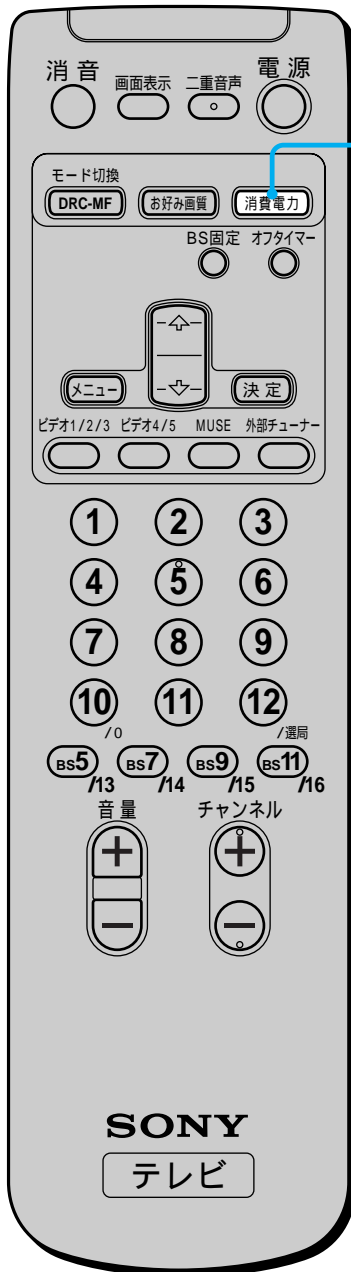
メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「」(画質/音質)から、「DRC-MF」を選び、「DRC4倍密・標準」か「DRCプログレッシブ」を選んでください。

映像がざらついて見えるときは

受信信号の状態が良くないときに、ざらついて見えることがあります。お好み画質ボタンを押して「リビング」または「AVプロ」を選んでから、画質調整のメニュー画面で「シャープネス」を弱めてください(☎12ページ)。

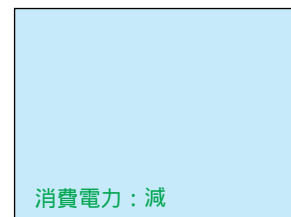
節電しながら見る (消費電力)

画面の明るさを下げて、節電しながら見る
ことができます。



消費電力
ボタン


消費電力ボタンを押す。
節電中になります。



節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

ちょっと一言

- 「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも節電中のままになります。
- メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「 (各種切換)」から、「消費電力」を選び、「標準」か「減」を選んでください。
- お好み画質で「リビング」または「AVプロ」を選んでいるときは、「消費電力:減」でも、画質を調整できます(④12ページ)。ただし、「ピクチャー」を上げると節電にならなくなる場合があるため、おすすめしません。

横長の画面にする

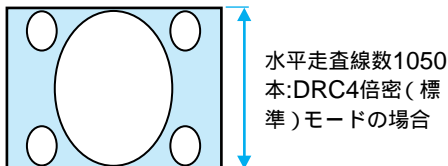
(ワイドモード)

下のイラストのように、ハイビジョン放送やビデオカメラ、DVDプレーヤーなど、横縦比16:9映像をあらかじめ縦長に圧縮して記録された映像を、元の16:9のワイド画像にして見ることができます。また、画面上下の黒帯部分を除いた部分(映像が表示されている部分)に、水平走査線を集める技術によって、非常に高密度な16:9映像をお楽しみいただけます。

ちょっと一言

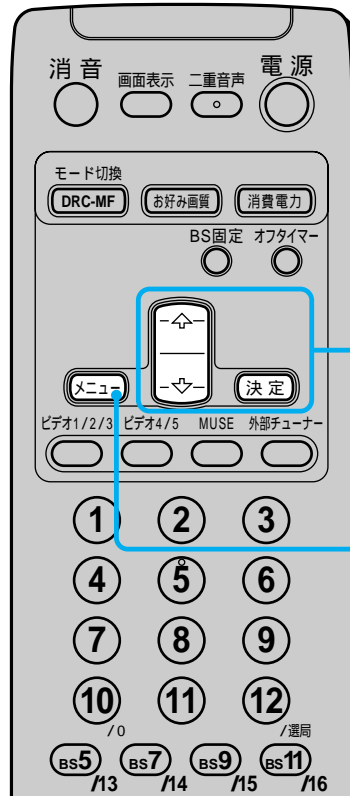
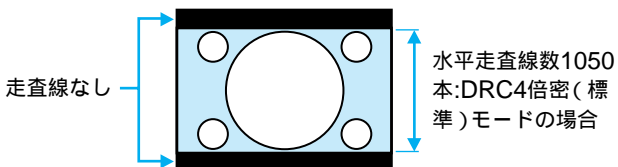
ワイド映像(スクイーズ映像)対応のDVDソフトの映像をより高画質に見るために、DVDプレーヤーの「TVタイプ」の設定を「16:9」にしてください。詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

ワイドモード「切」のときの映像(16:9映像を縦長に圧縮した映像)

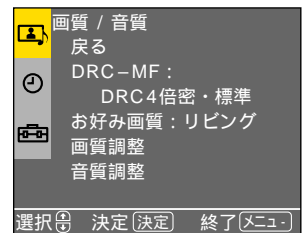


ワイドモードが働いているときの映像(16:9映像)

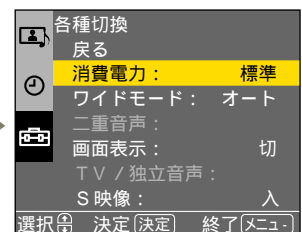
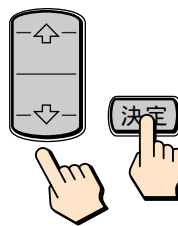
走査線を密にしてより高画質にします。



1 メニューボタンを押す。

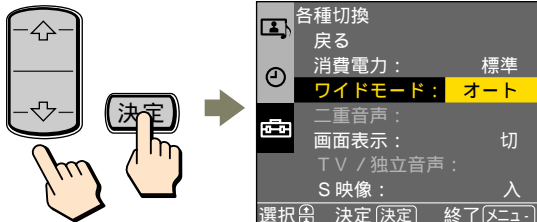


2 選択▲/▼ボタンを押して「各種切換」(各種切換)を選び、決定ボタンを押す。



横長の画面にする (つづき)

3 選択▲/▼ボタンを押して「ワイドモード」を選び、決定ボタンを押す。

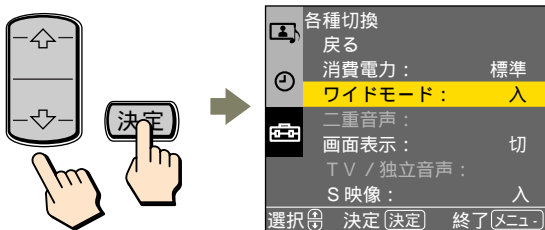


4 選択▲/▼ボタンを押して「オート」を選び、決定ボタンを押す。 通常は、「オート」(お買い上げ時の設定)にしておいてください。

横縦比の信号(ID-1/S1方式)が入った映像は、自動判別して縦方向を圧縮した横縦比16:9のワイド画面にし、それ以外の映像はオリジナルそのままに映します。

「入」を選ぶと
すべての映像を縦方向に圧縮します。

「切」を選ぶと
すべての映像をオリジナルそのままに映します。



ご注意

ハイビジョン放送(BS9)やMUSE入力の映像は、強制的に「入」で固定されるため、ワイドモードの項目を選ぶことはできません。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

「オート」のときのご注意

- 横縦比の信号(ID-1/S1方式)が正しく判別されないと、ワイド画面になりません。そのため、以下のように再生する機器をつないでください(☎39、40ページ)。また、再生する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
 - S1映像出力端子があるときは、本機のS1映像入力端子(ビデオ1~3入力、外部チューナー入力)にS映像コードでつないでください。
 - S1映像出力端子がなくてもビデオID-1システム対応のときは、本機のID-1に対応した映像入力端子(ビデオ1~5入力、BSデコーダー入力、外部チューナー入力)に映像コードでつないでください。
 - S1映像出力端子がなく、ビデオID-1システムにも対応していないときは、正しく判別されないことがあります。

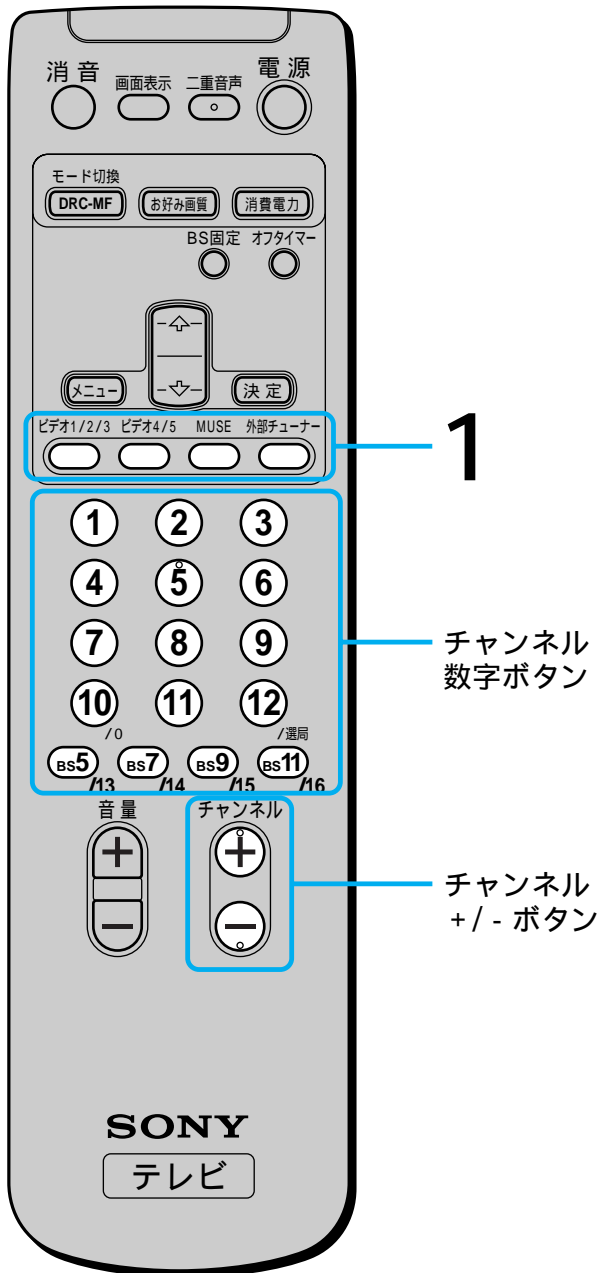
ワイドモードについてのご注意

- 通常のテレビやBS放送など横縦比4:3の映像で、ワイドモードを「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えます。
- ワイドモード機能を、喫茶店やホテル等で、営利目的、または公衆に視聴させる目的として使用すると、著作権法で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、「オート」または「切」にしてください。
 - 「入」を選ぶと、従来から入っていた黒帯の部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。
- 本機のBS/ビデオ出力端子につないだビデオで、ワイドモードにした映像(16:9映像)をそのままの画面サイズで録画することはできません。本機のビデオ出力端子からは、元のオリジナル映像(16:9映像を縦長に圧縮した映像)の信号で出力されるためです。

テレビにつないだ機器の画像を見る

(入力切換)

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やテレビゲーム、デジタルCS放送などの画像を見ることができます。接続のしかたについては、38～48ページをご覧ください。



1 入力切換用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに 以下につないだ機器の画像になります。 画面表示も変わります。

ビデオ1/2/3 ○	ビデオ1～3 入力端子	ビデオ1*1 ビデオ2*1 ビデオ3*1
ビデオ4/5 ○	ビデオ4、5 入力端子	ビデオ4(または ビデオ4/DVD*2) ↓ ビデオ5(または ビデオ5/DVD*2)
外部チューナー ○	外部チューナー入力端子	外部チューナー*1
MUSE ○	MUSE入力端子	MUSE

*1 S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」、「Sビデオ2」、「Sビデオ3」、「S外部チューナー」と表示されます。

*2 ビデオ4、5入力のDVD入力(映像)端子から映像信号が入力されているとき

2 接続している機器を操作する。 詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

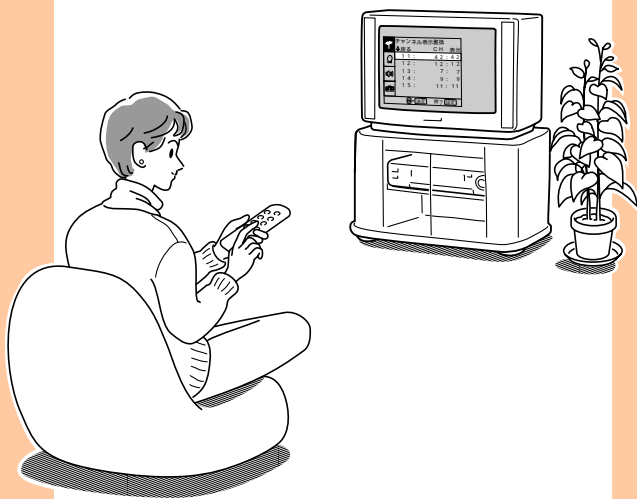
チャンネル数字ボタンまたはチャンネル +/- ボタンを押す。

調整する/ 設定する

ここでは、画質や音質を調整する応用的な操作を説明しています。

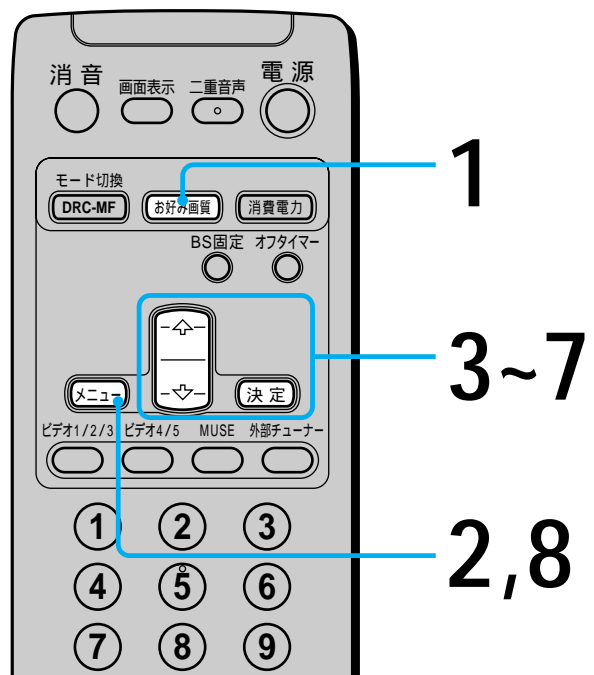
BS放送やハイビジョン放送をビデオに録画したり、予約録画したりするときの操作も説明しています。

また、本機に内蔵されている時計を使って、自動的に電源を切ったり、時刻表示をしたりする操作も説明しています。

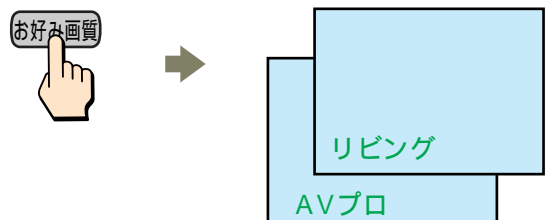


画質を調整する

お好み画質ボタンで「リビング」や「AVプロ」を選ぶ(⑥6ページ)と、画質をより細かく調整できます。画質は、入力切替用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます(ただし、通常のテレビ放送とBS放送、ハイビジョン放送は共通の設定になります)。



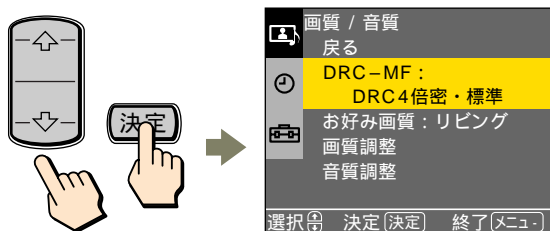
1 お好み画質ボタンをくり返し押しして、「リビング」または「AVプロ」を選ぶ。



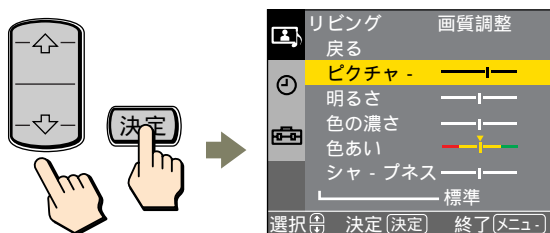
2 メニューボタンを押す。



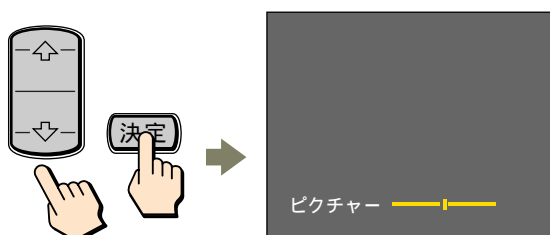
3 ▲/▼で「 (画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。



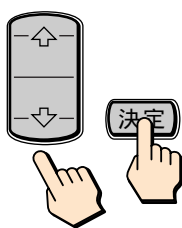
4 ▲/▼で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。



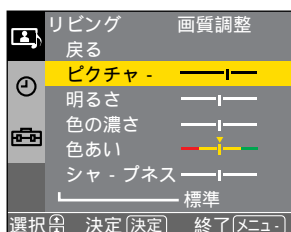
5 ▲/▼で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。



6 ▲/▼で調整し、決定ボタンを押す。



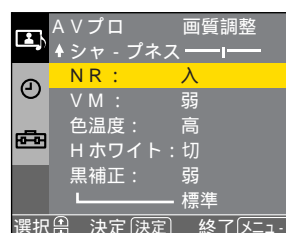
「リビング」と「AVプロ」両方で調整できる項目



項目	▲を押すと	▼を押すと
ピクチャー	明暗の差が大きくなる	明暗の差が小さくなる
明るさ	明るくなる	暗くなる
色の濃さ	濃くなる	薄くなる
色あい	緑がかかる	赤みがかかる
シャープネス	映像の輪郭がくっきりする	映像の輪郭が柔らかくなる

「AVプロ」でのみ調整できる項目

▼を押し続けて「シャープネス」の下まで移動すると、以下の項目が調整できます。



項目	説明	選べる設定
<small>ノイズリダクション</small> NR*	通常は「入」にしておいてください。 「入」:映像のざらつきや色ノイズを軽減する(ゴーストなど電波障害は軽減されない)。 「切」:テレビにつないだ機器の元の映像信号(処理していないオリジナル信号)の状態を確認するときなどに選ぶ。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることもある。	入/切
<small>ボクシテモジュレーション</small> VM	映像の輪郭を強調する。	強/中/ (速度変調) 弱/切
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/ 低
<small>ハイパー</small> Hホワイト	白の鮮明さを強調する。	入/切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	強/中/ 弱/切

* 通常のテレビ放送とBS放送、およびビデオ4、5のDVD入力(映像)端子につないだ機器の映像のときは、調整できません。ビデオ4、5のDVD入力(映像)端子を除くビデオ1~5入力端子と、外部チューナー入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できます。

画質を調整する (つづき)

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

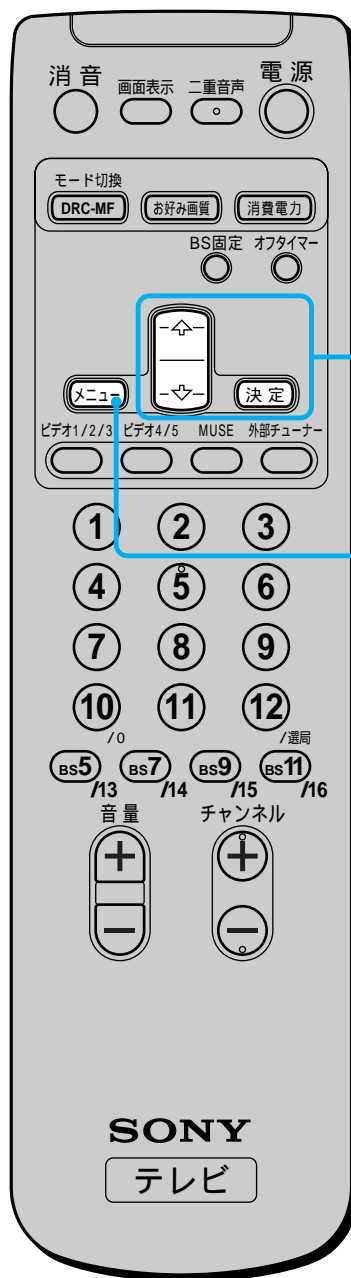
手順5で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

「ダイナミック」と「スタンダード」(※6ページ)では、画質調整できません。

音質を調整する

音質は、入力切替用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます(ただし、通常のテレビ放送とBS放送、ハイビジョン放送は共通の設定になります)。



2~6

1,7

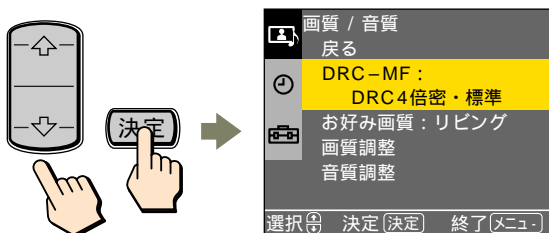
1

メニューボタンを押す。



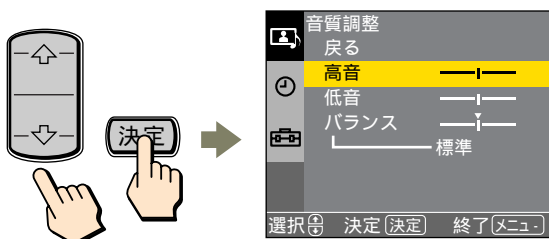
2

↑/↓で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。



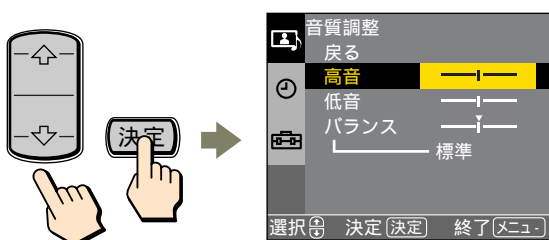
3

↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。



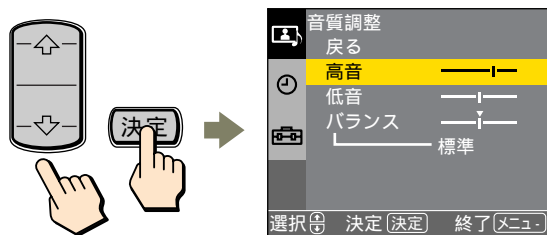
4

↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。



5

↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。



項目	↑を押すと	↓を押すと
高音	強くなる	弱くなる
低音	強くなる	弱くなる
バランス	右スピーカーの音が強くなる	左スピーカーの音が強くなる

6

他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7

メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順4で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

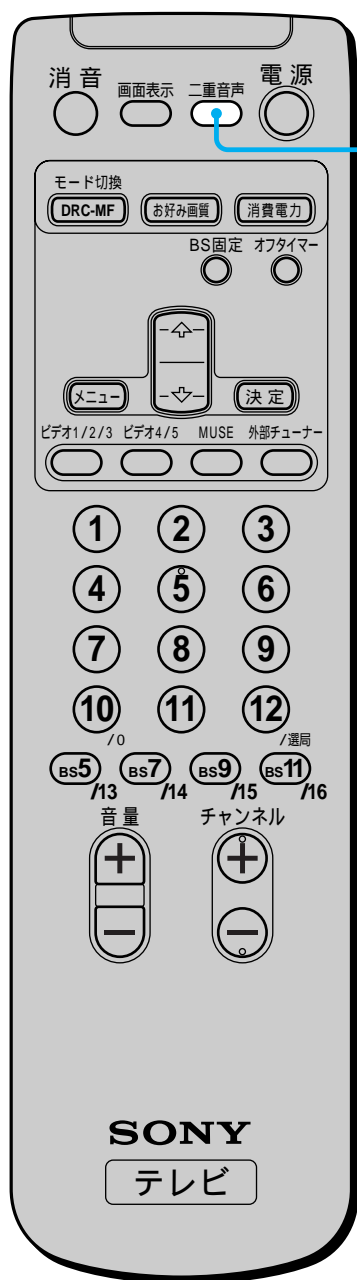
ご注意

ヘッドホンの音質調整はできません。ヘッドホンで聞いているときに音質調整をすると、ヘッドホンを抜いたときに出来るスピーカーからの音が調整されます。

音声を切り換える

(二重音声)

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。また、ハイビジョンの音声も切り換えられます。



二重音声ボタン

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

二重音声



画面表示	左スピーカー の音声	右スピーカー の音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声



例：「主/副」を選んだとき

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

本体のボタンを使います。

- 1 雑音の多いチャンネルを映した状態で、設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 Δ / ∇ ボタンで「 $\langle \rangle \rangle \rangle$ (音声設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 「オートステレオ」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。
- 4 選択 Δ / ∇ ボタンで「切」にして、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ハイビジョンの音声について

本機はハイビジョンの多重音声モードとステレオ2系統で音声を切り換えられます。

ご注意

ハイビジョンの3chステレオモードと3-1方式4chステレオモードには対応していません。

多重音声モードのとき

二重音声ボタンをくり返し押す。
押すたびに、下表のように切り換わります。

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	第1副音声	第1副音声
副2	第2副音声	第2副音声
副3	第3副音声	第3副音声
主/副	主音声	第1副音声
主/副2	主音声	第2副音声
主/副3	主音声	第3副音声



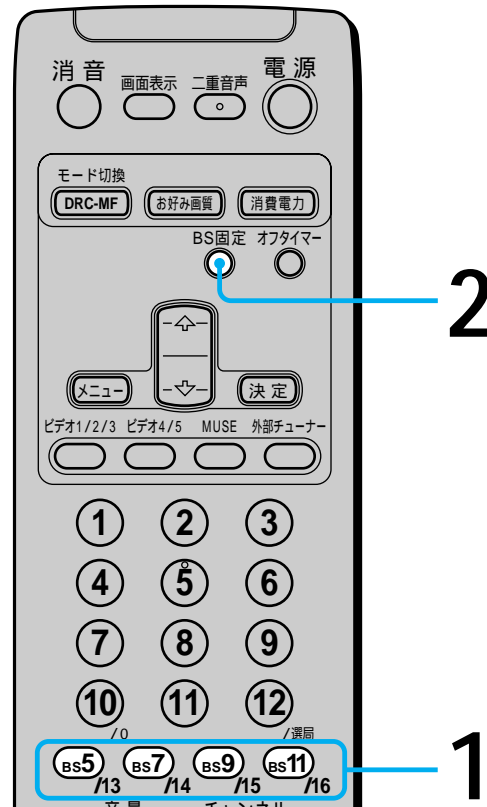
ステレオ2系統モードのとき

二重音声ボタンをくり返し押す。
押すたびに、「主ステレオ」または「副ステレオ」に切り換わります。

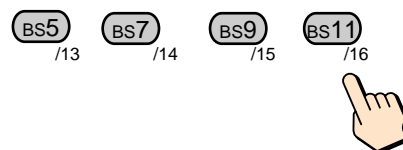
BS放送やハイビジョン放送を録画/予約録画する (BS固定)

本機内蔵のBSチューナーで、BS放送やハイビジョン放送*を本機につないでいるビデオに録画できます。また、録画するBSチャンネルを固定させて、裏録画や予約録画もできます。あらかじめ、「ビデオをつなぐ」(P.38ページ)をしておいてください。

* ビデオには、本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターを通して現行の放送方式 (NTSC) と同じ画質で録画されます。



1 録画したいBSチャンネルを選ぶ。



調整する / 設定する

次のページにつづく

BS放送やハイビジョン放送を録画/予約録画する(つづき)

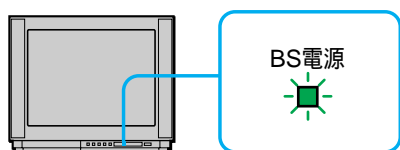
- 2** BS固定ボタンを押す。
本機BSチューナー部のBSチャンネルとBS/ビデオ出力端子から出る信号が固定されて、他のBSチャンネルに切り換わらなくなります。



- 3** S映像入力端子付きビデオのときは、ビデオ側で映像入力端子の信号を優先する設定にする。
本機のBS/ビデオ出力端子は映像出力端子のため、ビデオ側でS映像入力端子の信号を優先する設定にしてあると、映像信号がビデオに入力されないため、録画されません。詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

- 4** ビデオを「外部入力(ライン入力)」に切り換えて、録画を始める。
詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

予約録画するときはビデオで「外部入力(ライン入力)」を録画予約し、本機のリモコンでテレビの電源を切る。
テレビの電源はスタンバイ状態になりますが、BSチューナー部の電源は48時間電源が入ったままになります(BS電源ランプが点灯)。



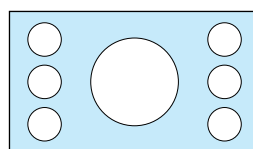
見ながら録画するときはBS固定したBSチャンネルで、そのままお楽しみください。他のBSチャンネルには、切り換わりません。

裏番組として録画するときはBSを録画しながら、テレビ放送(BS放送は除く)やビデオを見ることができます。見たいチャンネルやビデオ入力などを選んでください。

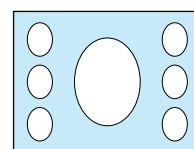
録画が終わったら/BS固定をやるには
BS固定ボタンをもう1度押す。
BS固定が解除され、他のBSチャンネルを選べます。

ご注意

- テレビ本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- WOWOWなどスクランブル放送を録画するときは、BSデコーダー(WOWOW)の電源を入れたままにしてください。
- ハイビジョンを録画するときは、以下にご注意ください。
 - ビデオには、本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターで現行の放送方式(NTSC)に変換された画像が録画されます。
 - ハイビジョン放送(BS9チャンネル)をBS固定したときは、他のBSチャンネルとMUSE入力の画像を見ることができません。
 - MUSE入力の画像をBS固定したときは、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)の画像を見ることができません。
- ビデオで録画したハイビジョンを再生して、本機以外のテレビで見るときは、以下にご注意ください。
 - 本機以外のワイドテレビで見るときは、「フル」モードにすると、録画時のワイド画面で見ることができます。
 - 「ワイドモード」機能のない他の4:3画面のテレビで見るときは、下の図のように、16:9のワイド画面を4:3に圧縮した縦長の画像になります。




録画時の画像



通常のテレビで見たと
きの画像

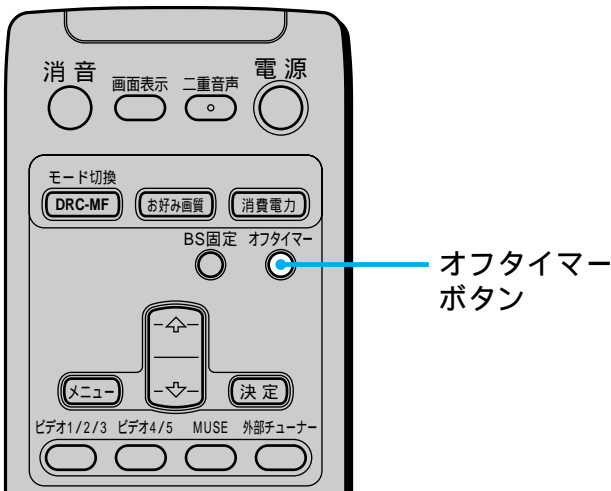
ちょっと一言

St. GIGAなど独立音声放送を録音するときは、メニューの「 (各種切換)」で、「TV/独立音声」を「独立」にしてください。また、BSデコーダー(WOWOW)でも独立音声を選んでください。

自動で電源を切る

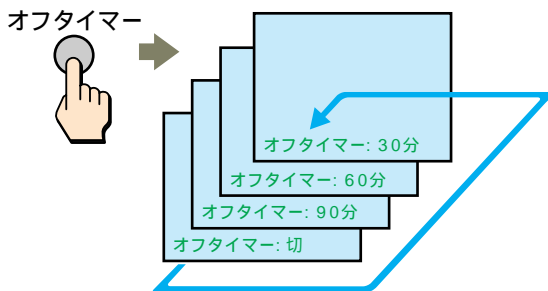
(オフタイマー)

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間(30分、60分または90分)が過ぎると、自動的に電源が切れます。



オフタイマーボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。



オフタイマーを途中でやめるには

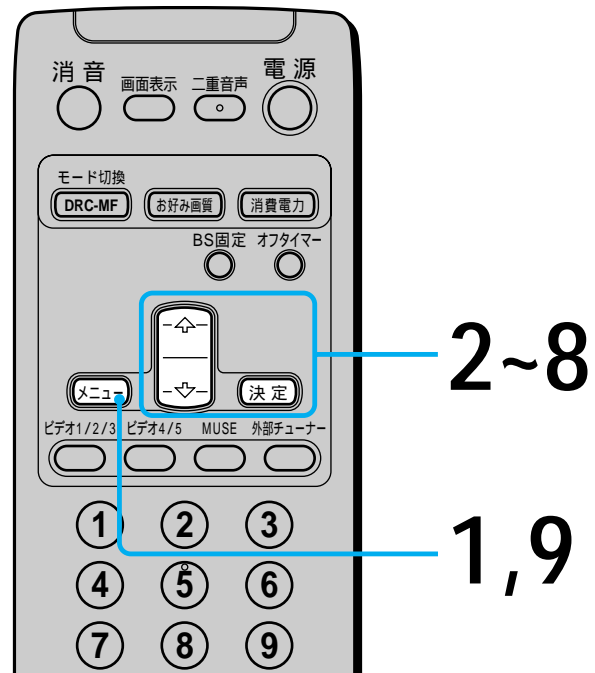
オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー:切」を選ぶ。

ちょっと一言

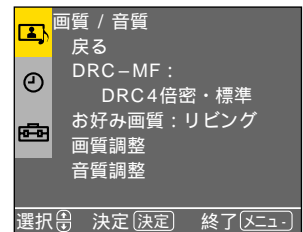
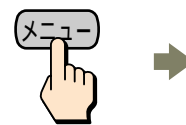
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー:切」に戻ります。
- メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「⌚(タイマー)」から「オフタイマー」を選び、時間を選んでください。

時刻を設定し表示する

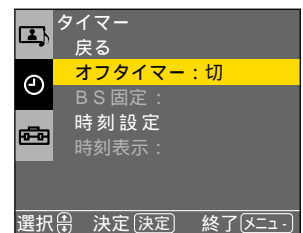
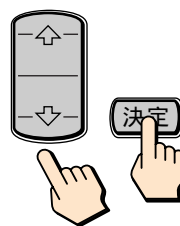
時刻を合わせて、画面に表示できます。



1 メニューボタンを押す。



2 ⬆/⬆で「⌚(タイマー)」を選び、決定ボタンを押す。

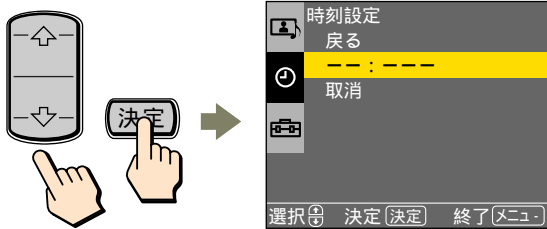


調整する / 設定する

次のページにつづく

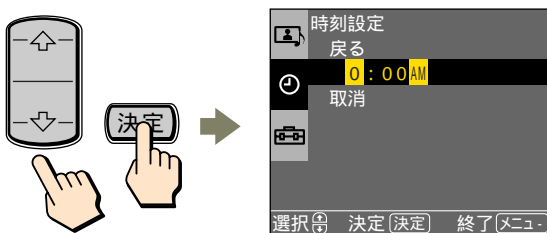
時刻を設定し表示する(つづき)

- 3 ▲/▼で「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。

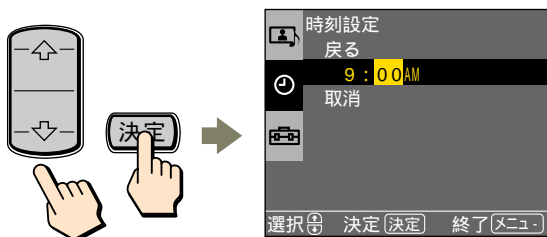


- 4 「--:--」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

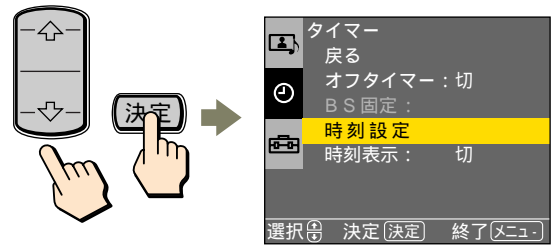
「--:--」が選ばれていないときは、▲/▼で選びます。



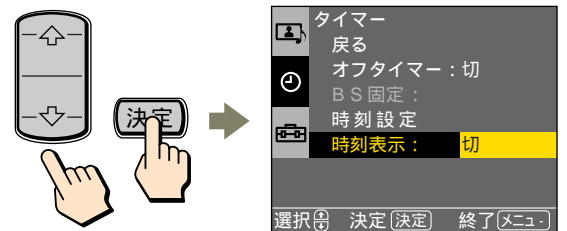
- 5 「時」を設定する。
▲/▼で数字を選び、決定ボタンを押す。
昼の12時は「0:00PM」、夜の12時は「0:00AM」と表示されます。



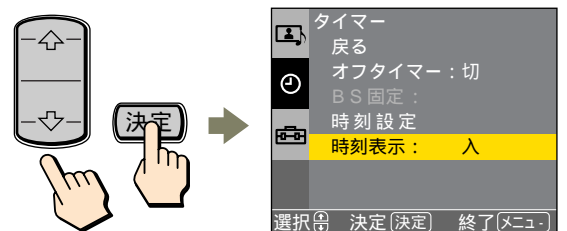
- 6 「分」を設定する。
▲/▼で数字を選び、時計に合わせて決定ボタンを押す。



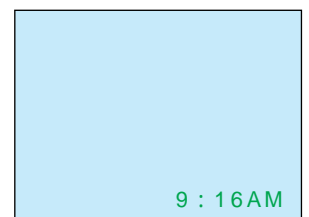
- 7 ▲/▼で「時刻表示」を選び、決定ボタンを押す。



- 8 ▲/▼で「入」を選び、決定ボタンを押す。



- 9 メニューボタンを押して、メニューを消す。
画面に時刻が表示されます。



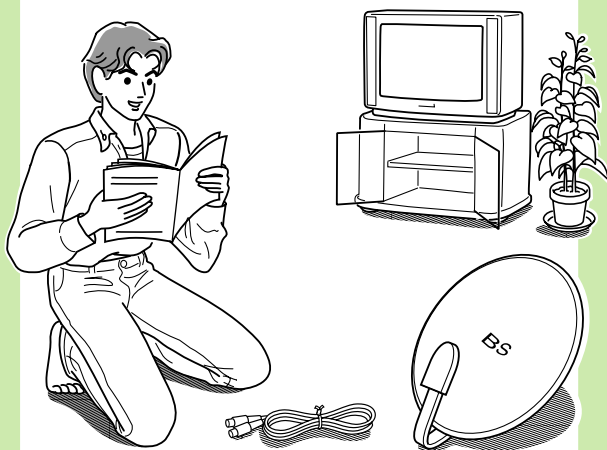
時刻の表示を消すには

「時刻を設定し表示する」(☎19ページ)の手順1、2を行った後、手順3~6をとばして、手順8で「切」を選ぶ。

テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナとBSアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定や、BS放送を見るための設定を説明しています。

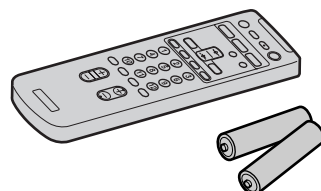
手順1～4(㊦24～32ページ)まで済ませれば、テレビを見ることができます。他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」(㊦36～48ページ)をご覧ください。



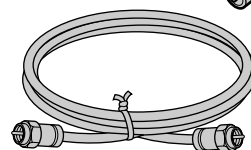
付属品を確認める

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン(1個)と
単3形乾電池(2個)



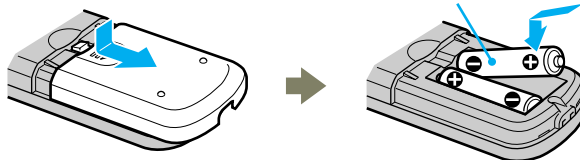
アンテナ接続ケーブル
(約1.5m:1本)



取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
(各1部)

リモコンに電池を入れるには

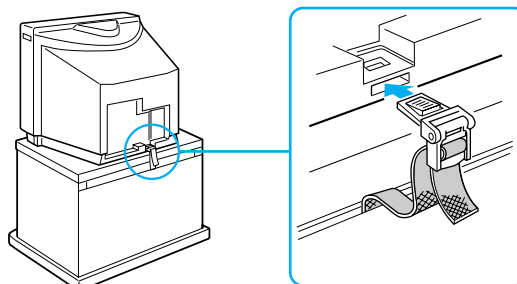
必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。



テレビの転倒を防ぐために

お子様が、テレビスタンドに載せた本機に登ったり、本機を押ししたりすると、テレビスタンドから本機が落ちる恐れがあります。必ず下記を使って、転倒を防いでください。

- テレビスタンド固定ベルト(別売り)
BLT-R10
- 固定ベルト付属のテレビスタンド(別売り)
KV-29DR5: SU-F200P、SU-F200、SU-28V
KV-34DR5: SU-F300P、SU-F300



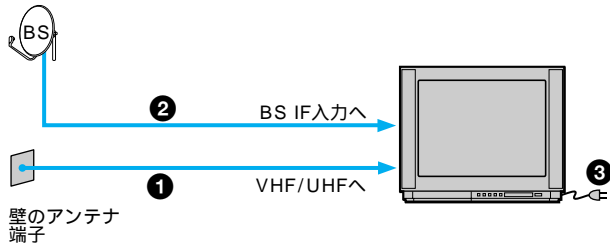
接続と準備の 早わかり

接続と準備のしかたは、放送の種類や接続する機器によって異なります。

ここでは代表的な組み合わせをあげていますので、参考にしてください。詳しくは()内のページ、および接続するビデオなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

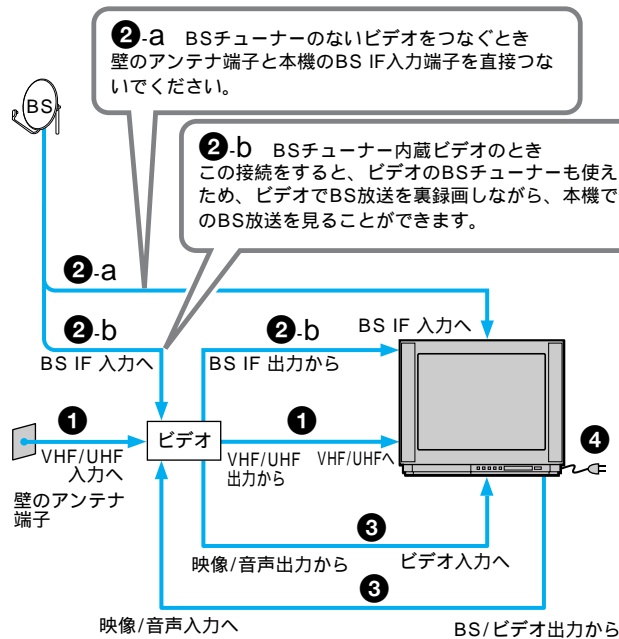
BSアンテナの接続およびBS受信の設定は、BS放送を受信しないときは不要です。

テレビ



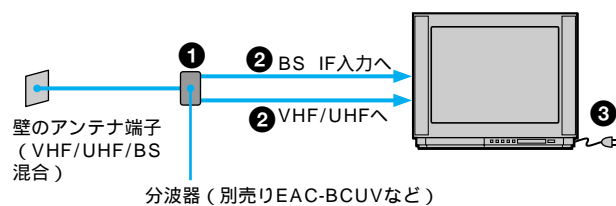
- ① テレビアンテナをつなぐ(㉔24ページ)
- ② BSアンテナをつなぐ(㉔26ページ)
- ③ 電源コードをつなぐ
- ④ テレビチャンネルを設定する(㉔27ページ)
- ⑤ BS受信の設定をする(㉔30ページ)

テレビ+ビデオ



- ① テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ(㉔38～41ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ② BSアンテナをつなぐ
 - ②-a BSチューナーのないビデオのとき:
BSアンテナをテレビにつなぐ(㉔26ページ)
 - ②-b BSチューナー内蔵ビデオのとき:
BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ(㉔26ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ③ ビデオをつなぐ(㉔38～41ページ)
- ④ 電源コードをつなぐ
- ⑤ テレビチャンネルを設定する(㉔27ページ)
- ⑥ BS受信の設定をする(㉔30ページ)

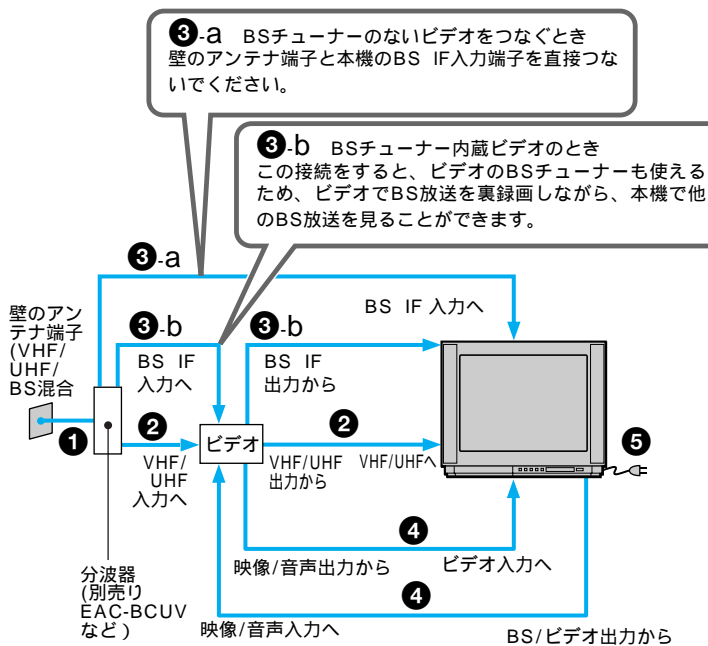
マンションなどの共同受信システム*1



*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

- ① 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける(㉔25ページ)
- ② VHF/UHFとBSをつなぐ(㉔25ページ)
- ③ 電源コードをつなぐ
- ④ テレビチャンネルを設定する(㉔27ページ)
- ⑤ BS受信の設定をする(㉔30ページ)

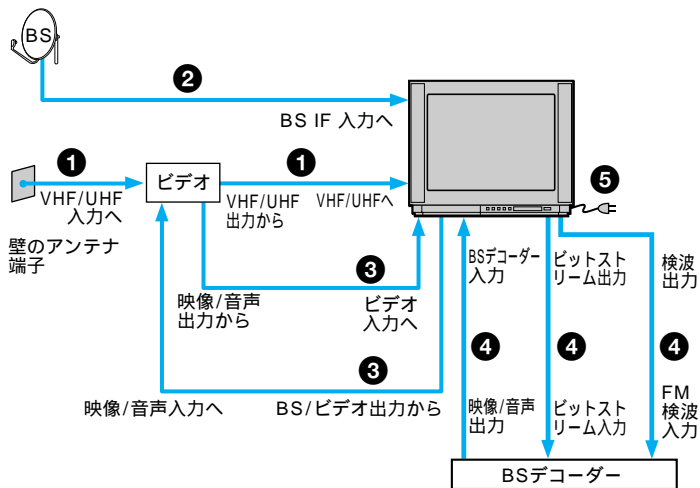
マンションなどの共同受信システム*1 + ビデオ



- ① 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける (㊦25ページ)
- ② テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなく (㊦38~41ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ③ BSアンテナをつなく
 - ③-a BSチューナーのないビデオのとき:
BSアンテナをテレビにつなく (㊦26ページ)
 - ③-b BSチューナー内蔵ビデオのとき:
BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなく (㊦26ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ④ ビデオをつなく (㊦38~41ページ)
- ⑤ 電源コードをつなく
- ⑥ テレビチャンネルを設定する (㊦27ページ)
- ⑦ BS受信の設定をする (㊦30ページ)

*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

テレビ + WOWOW + ビデオ*2



- ① テレビアンテナをビデオを経由してからテレビにつなく (㊦38~41ページ)
- ② BSアンテナをつなく (㊦26ページ)
- ③ ビデオをつなく (㊦38~41ページ)
- ④ BSデコーダー(WOWOW)をつなく (㊦42~44ページ)
- ⑤ 電源コードをつなく
- ⑥ テレビチャンネルを設定する (㊦27ページ)
- ⑦ BS受信の設定をする (㊦30ページ)

*2 BSチューナー内蔵ビデオのときの接続は、左の図とは異なります。「BSデコーダー(WOWOW)をつなく: BSチューナー内蔵ビデオのとき」(㊦43ページ)の接続を行ってください。

ケーブルテレビ

ケーブルシステムによって接続や準備のしかたが異なります。ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビは壁から10cm以上離して設置してください

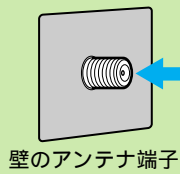
壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

手順1: テレビアンテナを つなぐ

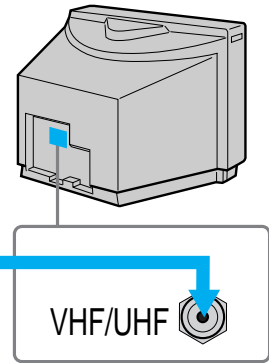
テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。

いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

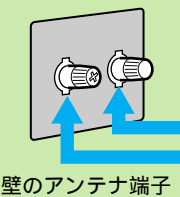
VHF/UHF混合、
またはVHF、
またはUHF



アンテナ接続ケーブル(付属)

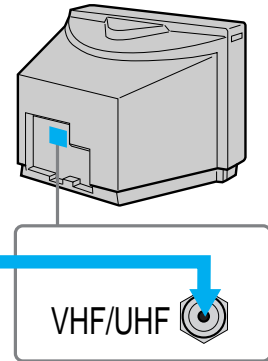


VHF、
またはUHF

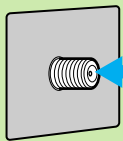


変換コネクター
(別売りEAC-24Aなど)

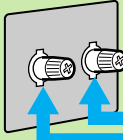
アンテナ接続ケーブル(付属)



VHF



UHF



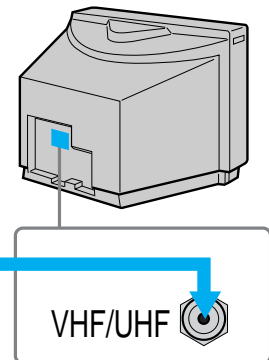
壁のアンテナ端子

同軸ケーブル(別売り)

アンテナ接続ケーブル
(付属)

中継コネクター
(別売りEAC-40など)

アンテナ混合器(別売りEAC-68など)



フィーダー線
(別売り)

つなぎかた

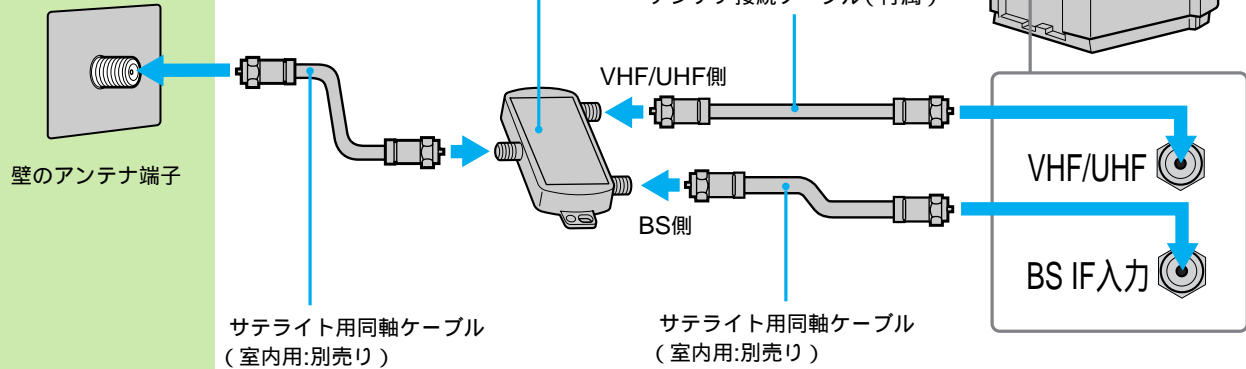
UHFのフィーダー線

ネジをゆるめて芯線を巻き
つけ、ネジを締める

VHFの同軸ケーブル

マンションなどの共同受信システム

(VHF/UHF/BS混合)



きれいな画像をお楽しみいただくために


本機には、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実にを行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線または同軸ケーブルのどちらであっても、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。
- BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブル(室内用:別売り)をつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源(DC 15V)が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ(別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など)を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分波器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

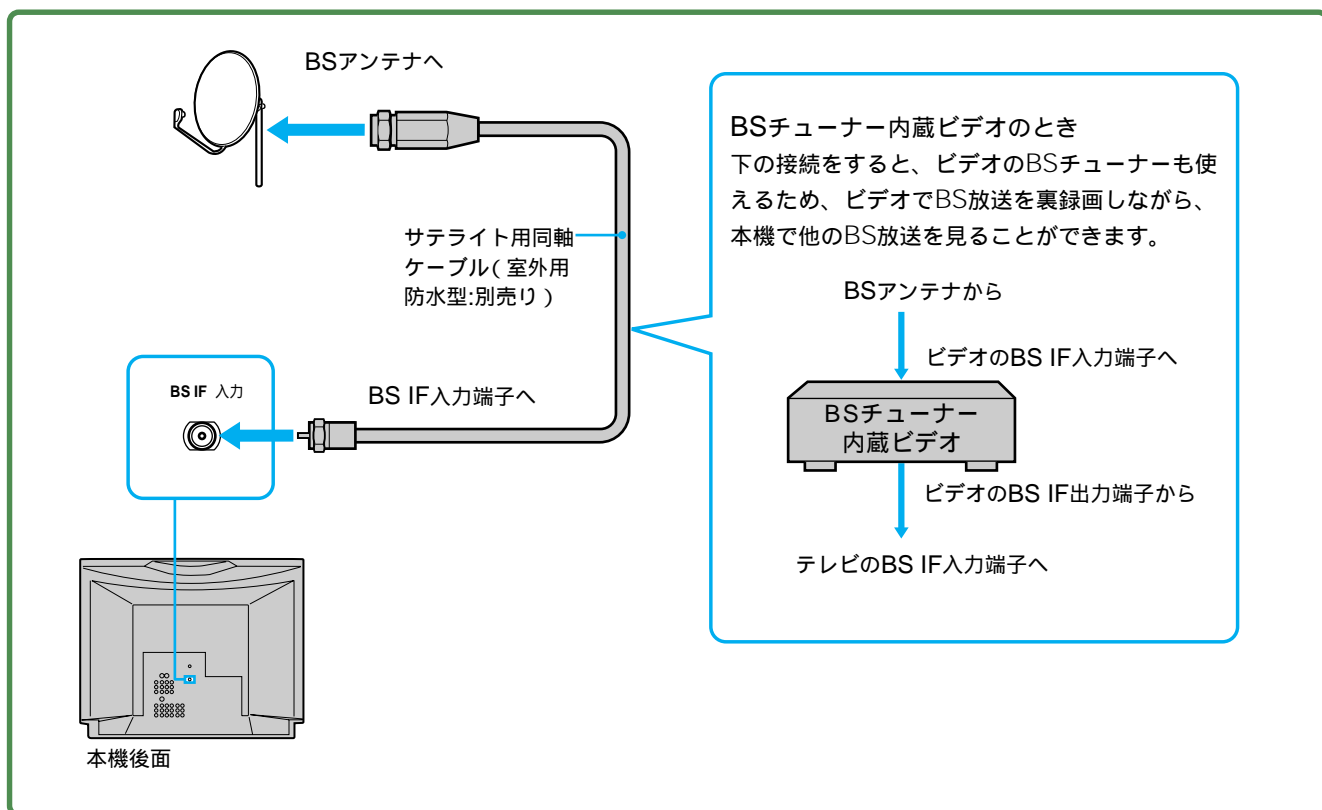
ちょっと一言

マンションなどの共同受信システムで、BS放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、サテライトブースター(別売りBO-BC20など)をつないでください。また、設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源」を「切」にしてください(☞30ページ)。

手順2: BSアンテナを つなぐ

BSアンテナをテレビに直接つなぎます。マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、④25ページをご覧ください。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。

WOWOWをご利用になるときは、「BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ」(④42ページ)もあわせてご覧ください。



ご注意

- BS IF入力端子には、必ず衛星用同軸ケーブルをつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源(DC 15V)が供給されているため、衛星用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。

推奨ケーブル

- 室外用防水型:SAK-C10/C20/C30など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
 - 雷、雨、強風などの悪天候のとき
 - BSアンテナに雪が付着しているとき
 - 強風などでアンテナの向きが変わったとき(BSアンテナの向きを調整してください。④31ページ)
 - 春分や秋分、日食など、太陽と地球とBS衛星が並んだ(食)とき
- BS IF入力端子につないだ衛星用同軸ケーブルの芯線と端子のまわりの金属部分が触れて、ショートしないようご注意ください。

- 衛星分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ(別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など)を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給する衛星分波器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。
- BSアンテナをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子を傷めることがあります。

「BSアンテナ電源を確認してください」という表示が出たら

- マンションなどの共同受信システムのときは、設定メニューの「 (BS設定)」で、「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください(④30ページ)。
- BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

手順3: チャンネルを設定 する

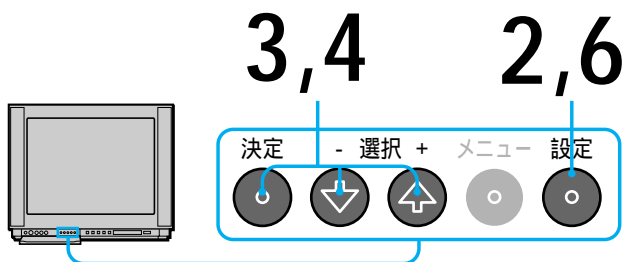
VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定
できます。はじめに自動設定することをおすす
めします。

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字
ボタンに自動的に設定します。

放送のある時間帯に行ってください。BS放送
はお買い上げ時に設定されています。

自動設定したチャンネルを変更したり、放送の
ないチャンネルをとばすときは、28、29
ページをご覧ください。



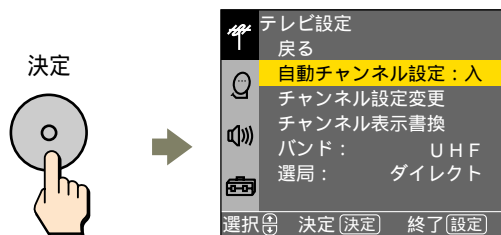
本体のボタンを使います。

1 電源を入れ、VHF/UHF放送を
映す。

2 設定ボタンを押す。

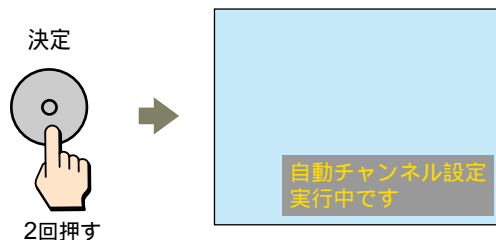


3 「 (テレビ設定)」が選ばれてい
る(黄色になっている)ことを確
認した後、決定ボタンを押す。

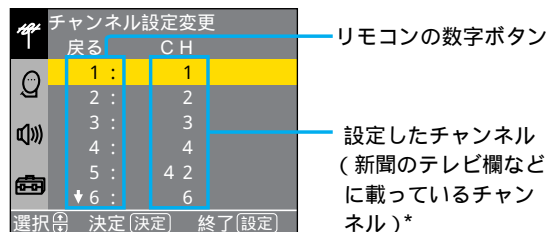


4 「自動チャンネル設定」が選ばれ
ていて(黄色になっていて)
「入」になっていることを確認し
た後、決定ボタンを2回押す。

「切」になっているときは、決定ボタンを
1回押した後、選択/ボタンで「入」を
選び、決定ボタンを押す。



「自動チャンネル設定実行中です」と表示
され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わ
ります。



* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャン
ネル番号と異なる場合があります。

5 設定されたチャンネルを確認
し、必要があれば、手動で設定
し直す(28ページ)。

6 設定ボタンを押して、設定メ
ニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順4で「自動チャンネル設定実行中です」の
メッセージが出ている間に、設定ボタンを押す。

手順3:

チャンネルを設定する(つづき)

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13～C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。

詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

本体のボタンを使います。

- 1 ダイレクト選局になっていることを確認する(④33ページ)。
- 2 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 3 選択 \uparrow / \downarrow ボタンを押して「 \uparrow (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 \uparrow / \downarrow ボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 \uparrow / \downarrow ボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 選択 \uparrow / \downarrow ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 選択 \uparrow / \downarrow ボタンを押して、ケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。
- 8 選択 \uparrow / \downarrow ボタンを押して、「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例：C24
- 9 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」(④33ページ)をするときは、上記で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。

1～12のチャンネル数字ボタンと、BS5、7、9、11のBSチャンネルボタンの合計16チャンネルのすべてを、手動で設定できます。

ご注意

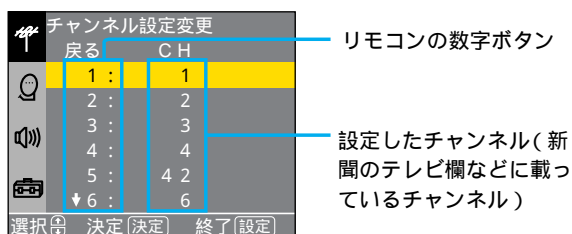
BS5、7、9、11ボタンは、ボタン名と同じBSチャンネル用としてだけでなく、13、14、15、16チャンネルボタンとしても使えます。ただし、ボタン名と異なる他のチャンネルに設定し直すと、各ボタンを押しても、BS5、7、9、11チャンネルを直接選局できなくなります。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

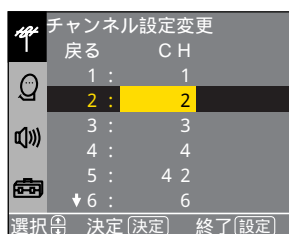
リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

本体のボタンを使います。

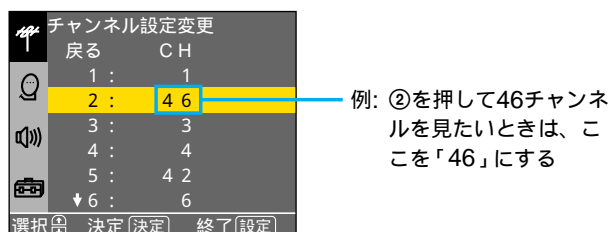
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 \uparrow / \downarrow ボタンで「 \uparrow (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 \uparrow / \downarrow ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択 \uparrow / \downarrow ボタンで変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択 \uparrow / \downarrow ボタンで設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。




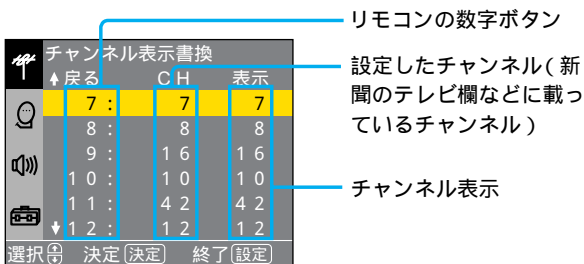
- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

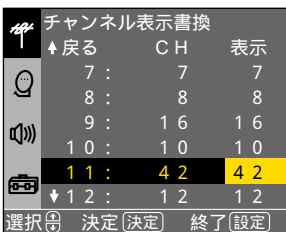
画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などを書き換えることができます。

本体のボタンを使います。

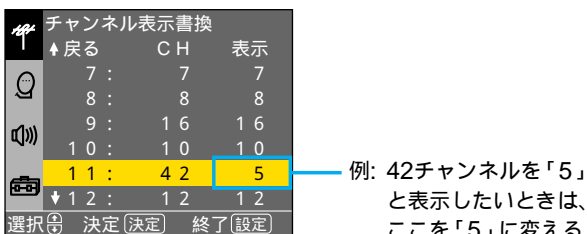
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択⇄ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択⇄ボタンで「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択⇄ボタンで書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択⇄ボタンでチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。



- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。


ちょっと一言

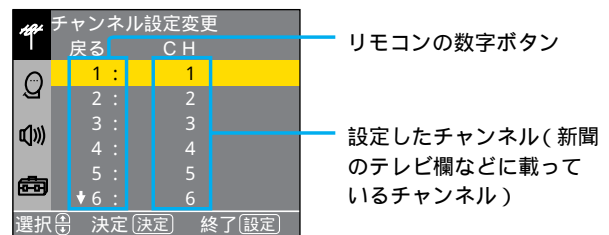
- チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。
- BS放送のチャンネル表示は書き換えられません。

放送のないチャンネルをとばすには

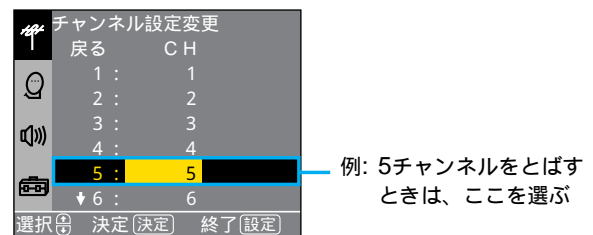
チャンネル+/- ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす(選局しない)ように設定できます。

本体のボタンを使います。

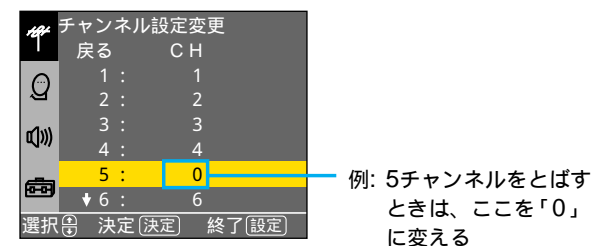
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択⇄ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択⇄ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択⇄ボタンでとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択⇄ボタンで「CH」を「0」に変えて、決定ボタンを押す。



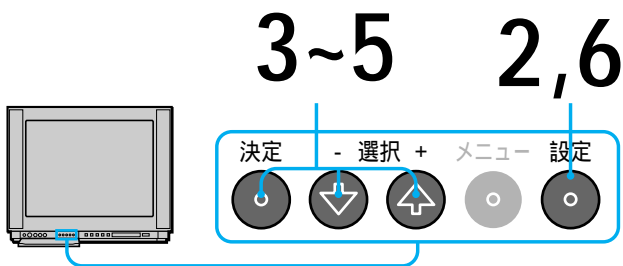
- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

手順4: BS受信の設定をする

BS放送を見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きを調整してください。

BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつなぎかた(マンションなどの共同受信システムか、テレビなどに直接つないでいるかなど)に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。



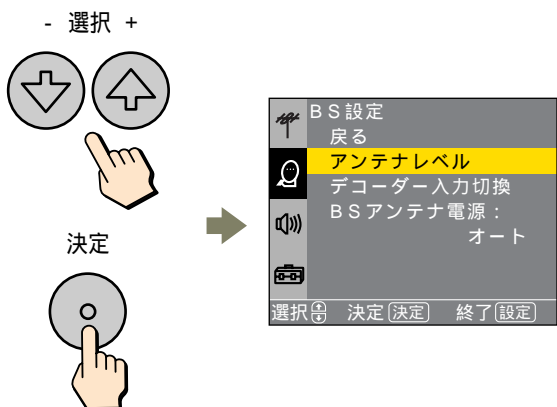
本体のボタンを使います。

1 電源を入れ、BS放送を映す。

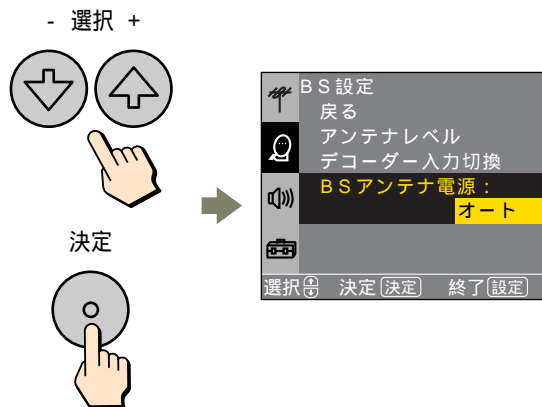
2 設定ボタンを押す。



3 選択⇄ボタンで「 (BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択⇄ボタンで「BSアンテナ電源」を選び、決定ボタンを押す。



5 マンションなどの共同受信システムの場合は

選択⇄ボタンで「切」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナをつないでいるときは
選択⇄ボタンで「オート」または「連動」を選び、決定ボタンを押す。

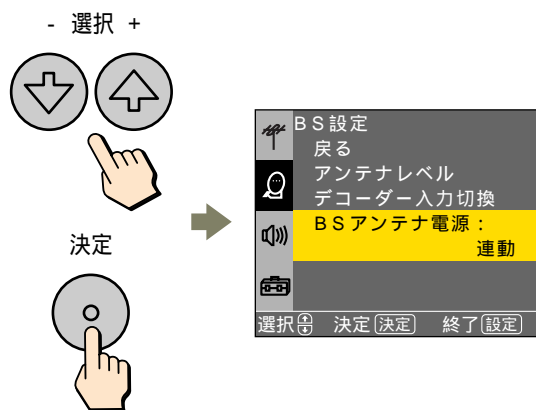
設定 BSアンテナへの電源供給のしかた

●オート テレビの電源が入っているときに、テレビがBSアンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。テレビの電源が切れているときは供給しない。

連動 テレビの電源が入っているときはつねに電源を供給する。テレビの電源が切れているときは供給しない。BSが映ったり消えたりするときに選んでください。

切 電源を供給しない。

●: お買い上げ時の設定



6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意

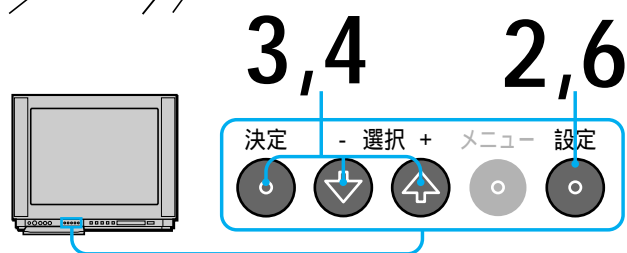
- ・「オート」にしている場合、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「連動」にしてください。
- ・1本のBSアンテナに分波器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「連動」にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器にBS電源が供給されません。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナをテレビに直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がレベル表示が最大になるように、BSアンテナを動かしながら調整します。向きや角度については、BSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

「BSアンテナ電源」が「切」になっているときは、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください(☎30ページ)。



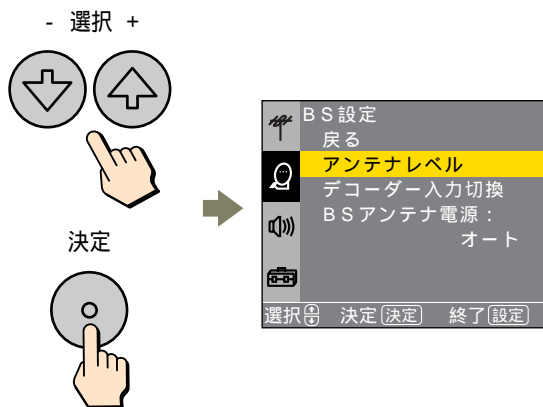
本体のボタンを使います。

1 電源を入れ、BS放送を映す。

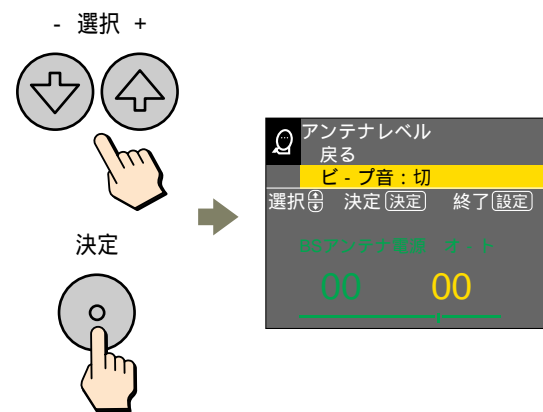
2 設定ボタンを押す。



3 選択+/▽ボタンで「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

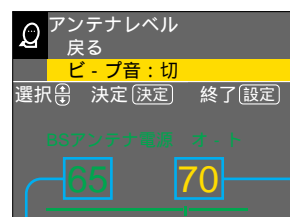


4 選択+/▽ボタンで「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。



5 BSアンテナを動かして調整する。

受信中のアンテナレベルが最大値と一致、または一番近づいたところでBSアンテナを固定します。



受信中のアンテナレベル (緑色の数字) 最大値(黄色の数字)

6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

次のページにつづく

手順4: BS受信の設定をする(つづき)

音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

- 1 手順4のあと、選択 \triangleleft / \triangleright ボタンで「ピープ音」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 選択 \triangleleft / \triangleright ボタンで「入」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 手順5で連続した最大音になるよう、BSアンテナを調整する。

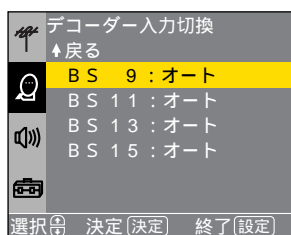
ちょっと一言

1つのBSチャンネルで調整すれば、他のBSチャンネルの調整は不要です。

デコーダー入力を設定する

お買い上げ時は、すべてのBSチャンネルが「オート」に設定されているため、設定しなおす必要はありません。「オート」になっていると、BSデコーダー入力端子につないだBSデコーダー(WOWOW)などのスクランブルを自動的に判別するからです。あえて、設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。本体のボタンを使います。

- 1 本機でBS放送を映す。
- 2 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 3 選択 \triangleleft / \triangleright ボタンで「 BS 設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 \triangleleft / \triangleright ボタンで「デコーダー入力切替」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 \triangleleft / \triangleright ボタンでチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
BS9~15を設定するときは、 \triangleright ボタンを押し続けると出てくる画面にあります。



- 6 選択 \triangleleft / \triangleright ボタンで「テレビ」、「デコーダー」、「オート」を選び、決定ボタンを押す。

設定	内容
オート	BSデコーダー(WOWOW)などのスクランブルを自動判別
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す
デコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す

- 7 他のBSチャンネルを設定するときは、手順5と6をくり返す。
- 8 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ(10キー選局)

お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大16局です。そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が16局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。

「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押したあと、⑫(=選局)ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

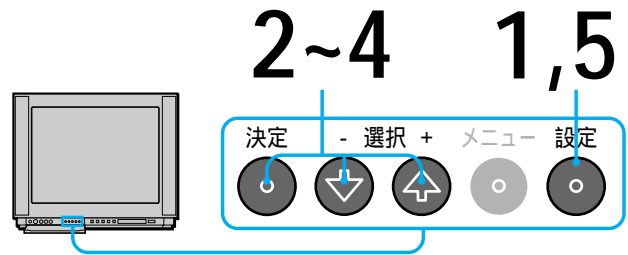
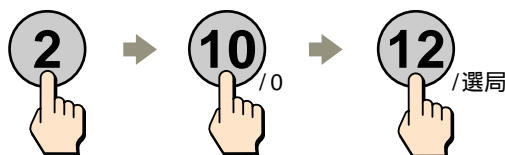
ちょっと一言

BS放送は、「10キー選局」に変えても、リモコンのBS5~11ボタンを押して、直接選べます。

例) 14チャンネル

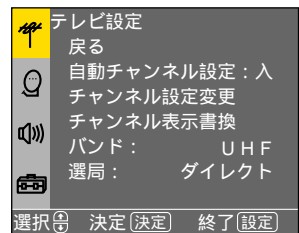
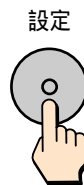


20チャンネル

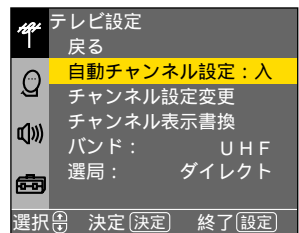
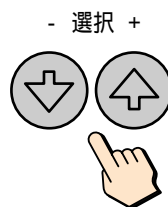


本体のボタンを使います。

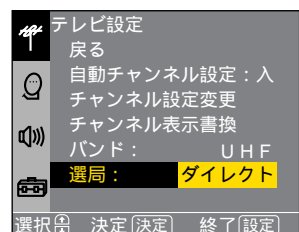
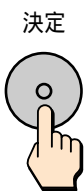
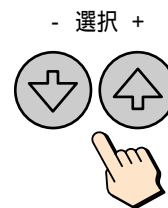
1 設定ボタンを押す。



2 選択↑/↓で「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。



3 選択↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。

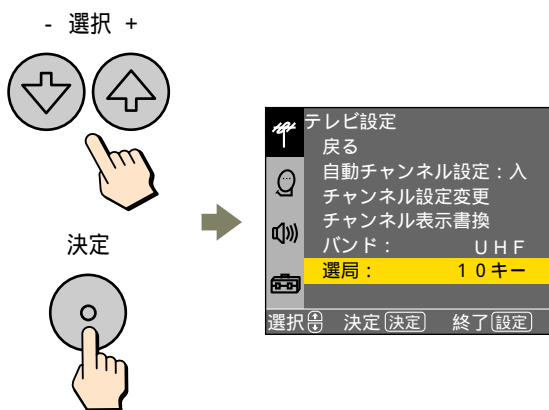


テレビの接続と準備

次のページにつづく

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ(つづき)

- 4** 選択 $\triangleleft/\triangleright$ で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。



- 5** 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する(④27ページ)ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2(④33ページ)の後に下記の操作をした後、手順3以降を行ってください。
 - 1 選択 $\triangleleft/\triangleright$ で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
 - 2 選択 $\triangleleft/\triangleright$ で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
 - 3 手順3以降を行う。

チャンネル+/- ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1~12チャンネルとBS5、BS7、BS9、BS11が順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 $\triangleleft/\triangleright$ ボタンで「 \triangleleft (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 $\triangleleft/\triangleright$ ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選ぶ。

例：24チャンネルのとき



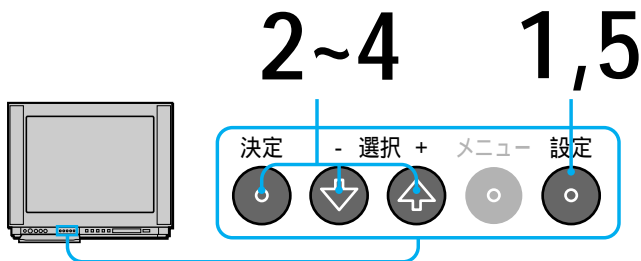
- 5 選択 $\triangleleft/\triangleright$ ボタンで見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。
- 7 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

画像の傾きを補正する

地磁気の影響で、画像が傾いたり、画面の上下位置がずれることがあります。このときは、テレビの向きを変えてみるか、次のように補正してください。

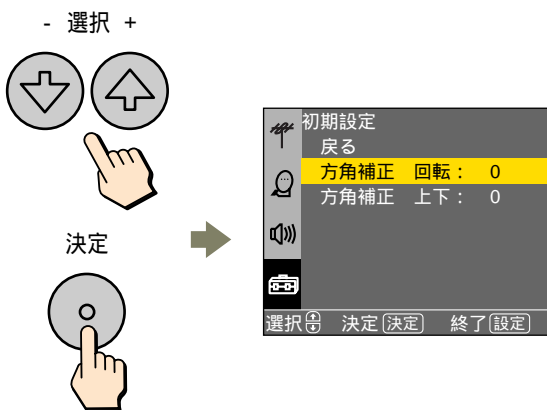


本体のボタンを使います。

1 設定ボタンを押す。

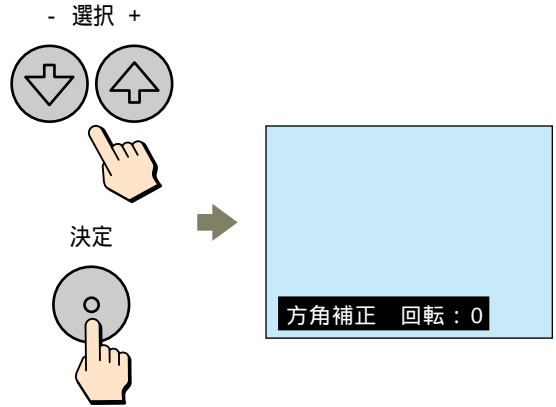


2 選択⇄ボタンで「 (初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。



3 選択⇄ボタンで「方角補正 回転」または「方角補正 上下」を選び、決定ボタンを押す。

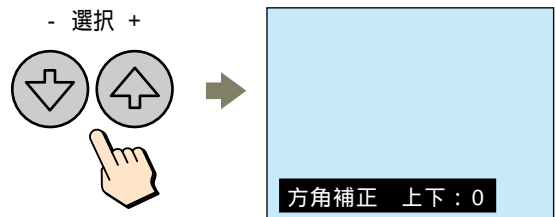
画像が傾いているときは「方角補正 回転」を、画面の上下位置がずれているときは「方角補正 上下」を選びます。



4 選択⇄ボタンで調整する。

手順3で「方角補正 回転」を選んだとき画像を見ながら、画面内の水平の線ができる限り水平になるようにします。数値は - 10 ~ + 10 の範囲で変わります。

手順3で「方角補正 上下」を選んだとき画面の上下位置を補正します。数値は - 5 ~ + 5 の範囲で変わります。



5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

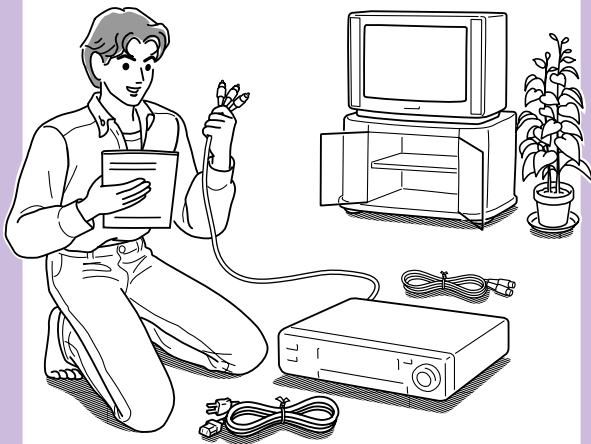
ご注意

高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、磁界の影響のため、うまく補正されないことがあります。このときは、ソニーサービス窓口またはお買い上げ店などにご相談ください。

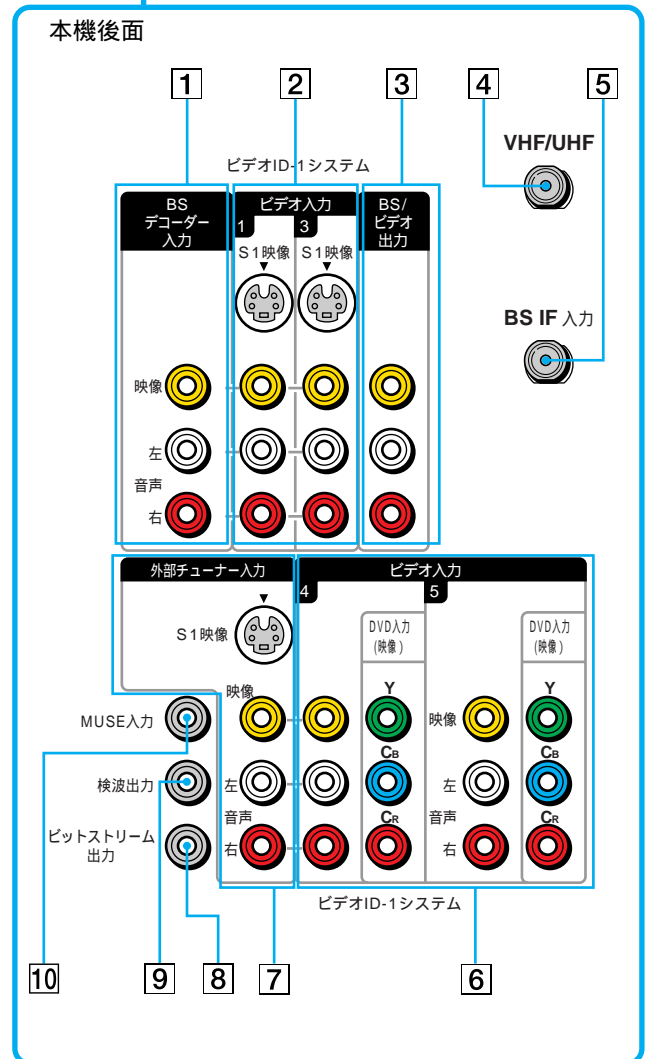
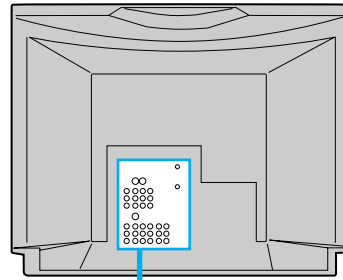
また、テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーからテレビを離して置いてください。それでも、うまく補正されないときも、ご相談ください。

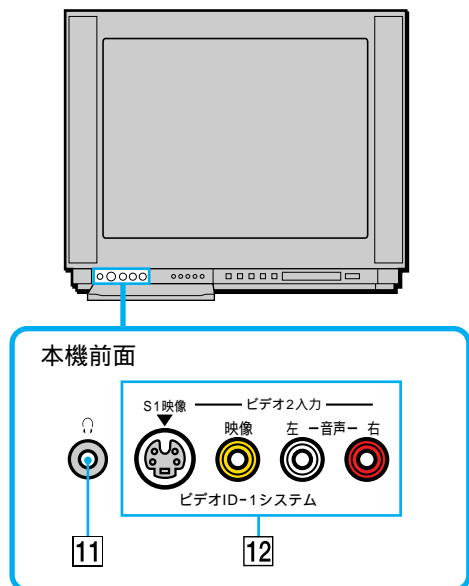
他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなどの他の機器のつなぎかたについて説明しています。テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」(P.21~35ページ)をご覧ください。



接続端子の名前とはたらき





㊦のページに詳しい説明があります。

1 BSデコーダー入力端子(映像/音声)(ID-1システム)(㊦42~43ページ)

BSデコーダー(WOWOW)の映像/音声出力端子につなぎます。

2 ビデオ1、3入力端子(S1映像/映像/音声)(ID-1システム)(㊦38~40ページ)

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなど、ビデオ機器のビデオ出力端子につなぎます。

3 BS/ビデオ出力端子(映像/音声)(ID-1システム)(㊦38~40ページ)

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。VHF/UHF、BS、ビデオ2~5入力、外部チューナー入力、MUSE入力の信号を出力します。ハイビジョンは通常のテレビ放送の方式(NTSC)と同じ画質の信号で出力します。また、BSデコーダー(WOWOW)をつないでいるときは、スクランブルを解除した信号を出力します。

ご注意

- ビデオ1入力端子につないだ機器、およびビデオ4、5入力のDVD入力(映像)端子につないだ機器の信号は出力しません。
- BS固定(㊦17ページ)の状態により、以下の信号を出力します。

BS固定が「切」のとき:
テレビに映っている映像と音声を出力します。

BS固定が「入」のとき:
テレビに映っている映像と音声には関係なく、固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。

4 VHF/UHFアンテナ端子(㊦24~25ページ)

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

5 BS IF入力端子(㊦26ページ)

BSアンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。BSアンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

6 ビデオ4、5入力端子(DVD入力(映像)/映像/音声)(ID-1システム)(㊦47ページ)

DVD入力(映像)端子

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子(Y/C_B/C_Rまたは、Y/B-Y/R-Y、Y/P_B/P_R)につなぎます。

映像入力端子

ビデオ機器の映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

ビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

ご注意

- DVD入力(映像)端子にハイビジョン機器はつなげません。
- DVD入力(映像)端子と映像入力端子の両方にビデオ機器をつないで、両方の端子から映像信号が入力されているときは、DVD入力(映像)端子の映像信号が優先されます。

7 外部チューナー入力端子(S1映像/映像/音声)(ID-1システム)(㊦45ページ)

デジタルCSチューナーなどの映像/音声出力端子につなぎます。

ちょっと一言

リモコンの外部チューナーボタンを押したときは、デジタルCSチューナーなど、この端子につないだ外部チューナー機器の画像を直接選べます。そのため、他のビデオ入力端子のS1映像/映像/音声端子と同じ仕様の端子ですが、あえて名称を変えています。

8 ビットストリーム出力端子(㊦42~43ページ)

BSデコーダー(WOWOW)のビットストリーム入力端子につなぎます。また、将来的に考えられている新放送システムにも対応します。

9 検波出力端子(㊦42~43ページ)

BSデコーダー(WOWOW)のFM検波入力端子につなぎます。

10 MUSE入力端子(㊦48ページ)

ハイビジョン・レーザーディスクプレーヤー(MUSE)のMUSE出力端子につなぎます。本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターを通して通常のテレビ放送(NTSC)と同じ画質で、見ることができます。

11 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

12 ビデオ2入力端子(S1映像/映像/音声)(ID-1システム)(㊦46ページ)

テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、下表の端子につないでください。

つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

つなぐ機器	つなぐ端子
テレビチューナー BSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ*2 ビデオカメラの再生	S1映像
デジタルCSチューナー	S1映像
DVDプレーヤー*3	S1映像
テレビゲーム	S1映像


*1 三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

*2 TBC(タイムベースコレクター)内蔵ビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も含まれます。

*3 コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは、本機のビデオ4、5入力のDVD入力(映像)端子につないでください(☞47ページ)。

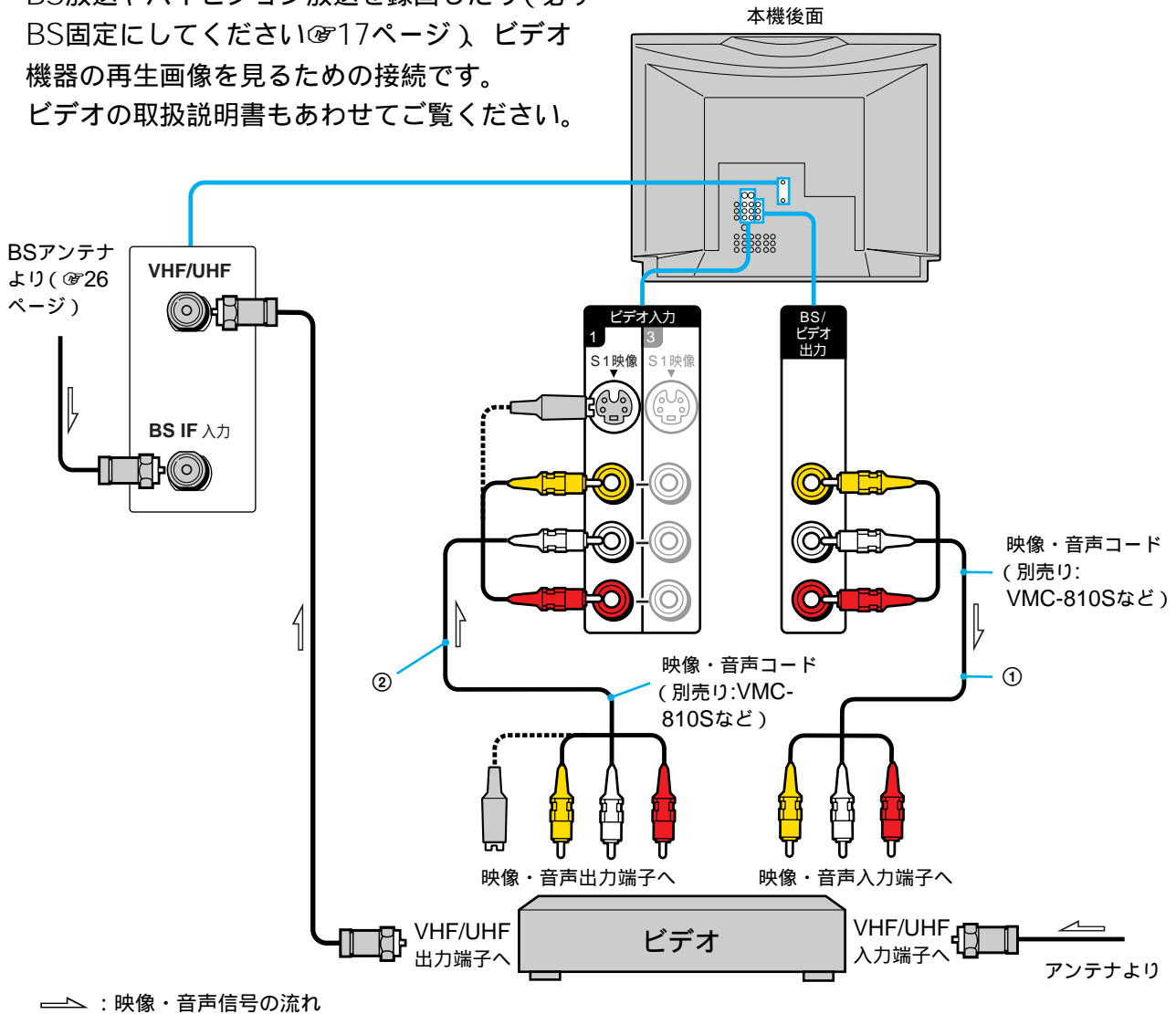
本機ビデオ1~3入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

- 1 ビデオ1/2/3ボタンをくり返し押し、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。
- 2 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 3 ▲/▼で「 (各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ▲/▼で「S映像」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 S1映像入力端子から入力された画像を見るときは
▲/▼で「入」を選び、決定ボタンを押す。
映像入力端子から入力された画像を見るときは
▲/▼で「切」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

BSチューナーのないビデオのとき

BS放送やハイビジョン放送を録画したり(必ずBS固定にしてください②17ページ)、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。



①BS放送やハイビジョン放送をビデオに録画するための接続です(②17ページ)。

②ビデオの再生画像を見るための接続です(②11ページ)。ビデオにS映像出力端子があるときはS映像・音声コード(別売り:YC-810Sなど)でつなぐと、よりきれいな画像を楽しめます。

ビデオを見るには

ビデオ1/2/3ボタンを押して、ビデオをつないだビデオ1入力(「ビデオ1」)を表示させる。詳しくは、②11ページをご覧ください。

ご注意

- BS放送やハイビジョンを録画するときは、BS固定をしてください(②17ページ)。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBS放送やハイビジョンがビデオに正しく録画されているかをチェックできます。BS固定をしないと、ビデオ1入力端子につないで、ビデオ1入力に切り換えたときには、画像も音声も出ません。ビデオ2~5入力端子のときは、画像が乱れることがあります。
- ハイビジョン放送は本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターで現行のテレビ方式(NTSC)に変換して、本機のBS/ビデオ出力端子から出力します。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2~5入力端子につないでください。ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されないためです。

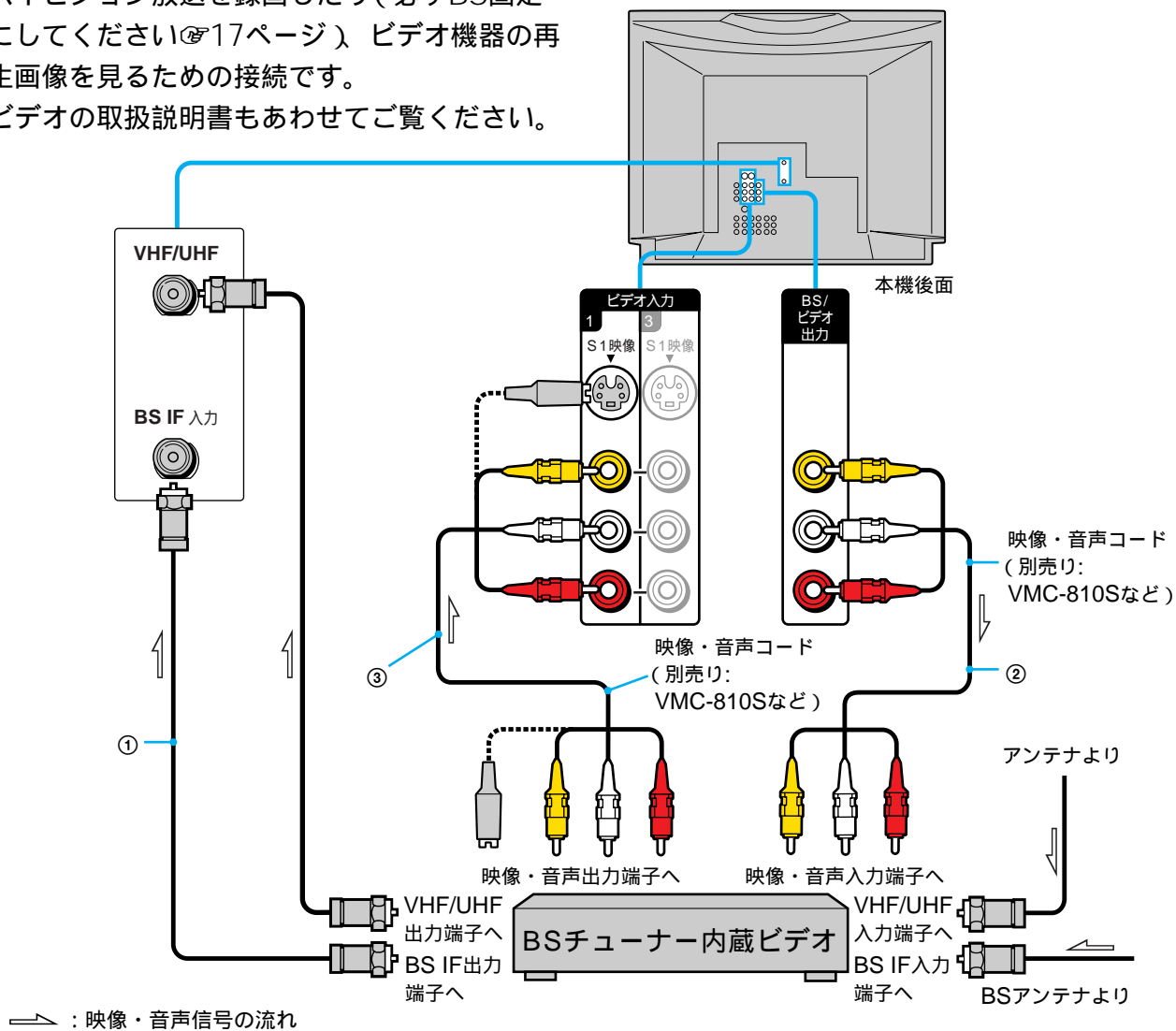
次のページにつづく

ビデオをつなぐ(つづき)

BSチューナー内蔵ビデオのとき

ハイビジョン放送を録画したり(必ずBS固定にしてください⑩17ページ)、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。

ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。



①本機とビデオの両方のBSチューナーを使うときの接続です。ビデオ内蔵のBSチューナーでBS放送を裏録画しながら、本機内蔵のBSチューナーで他のBS放送を見ることができます。

②ハイビジョン放送をビデオに録画するための接続です(⑩17ページ)。また、ハイビジョン放送以外のBS放送を録画するときは、ビデオ側でBS放送を受信し、録画してください。

③ビデオの再生画像を見るための接続です(⑩11ページ)。ビデオにS映像出力端子があるときはS映像・音声コード(別売り:YC-810Sなど)でつなぐと、よりきれいな画像を楽しめます。

ビデオを見るには

ビデオ1/2/3ボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力(「ビデオ1」)を表示させる。

詳しくは、④11ページをご覧ください。

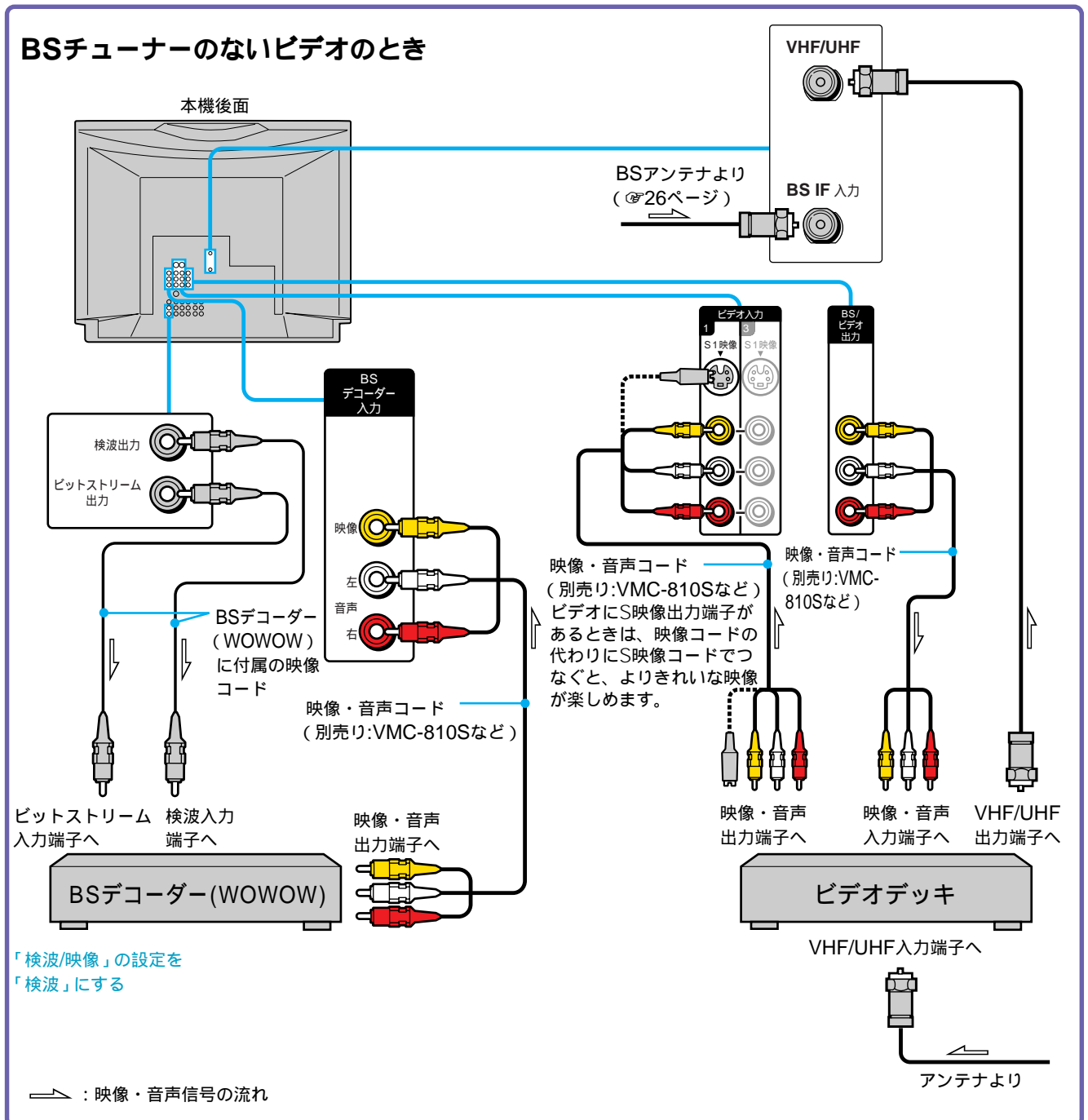
ご注意

- 本機内蔵のBSチューナーを使って、ハイビジョン放送を録画するときは、BS固定をしてください(④17ページ)。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているハイビジョン放送がビデオに正しく録画されているかを確認できます。
BS固定をしないと、ビデオ1入力端子につないで、ビデオ1入力で切り換えたときには、画像も音声も出ません。ビデオ2～5入力端子のときは、画像が乱れることがあります。
- ハイビジョン放送は本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターで現行のテレビ方式(NTSC)に変換して、本機のBS/ビデオ出力端子から出力します。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2～5入力端子につないでください。ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されないためです。

BSデコーダー (WOWOW)を つなぐ

WOWOWを見るには、WOWOWと受信契約が必要です。詳しくはWOWOWへお問い合わせください。

WOWOWと受信契約をすると送られてくるBSデコーダー(WOWOW)の取扱説明書もあわせてご覧ください。



WOWOWを見るには

BSデコーダー(WOWOW)の電源を入れて、本機リモコンのBS5ボタンを押す。

ご注意





- WOWOWを録画するときは、テレビ側でWOWOWを受信し、録画してください。WOWOWも含めたBS放送を録画するときは、BS固定をしてください(☞17ページ)。

- BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。BS固定をしないと、ビデオ1入力端子につないで、ビデオ1入力に切り換えたときには、画像も音声も出ません。ビデオ2~5入力端子のときは、画像が乱れることがあります。
- BSデコーダー(WOWOW)は、必ず本機のBSデコーダー入力端子につないでください。BSデコーダー入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン(例:BS5)を押しても選局できません。

BSデコーダー(WOWOW)をつ なく(つづき)

St.GIGAを聞くには

St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約をしないと聞けません。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 で「 (各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 で「TV/独立音声」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 で「独立」を選び、決定ボタンを押す。
スクランブルがかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

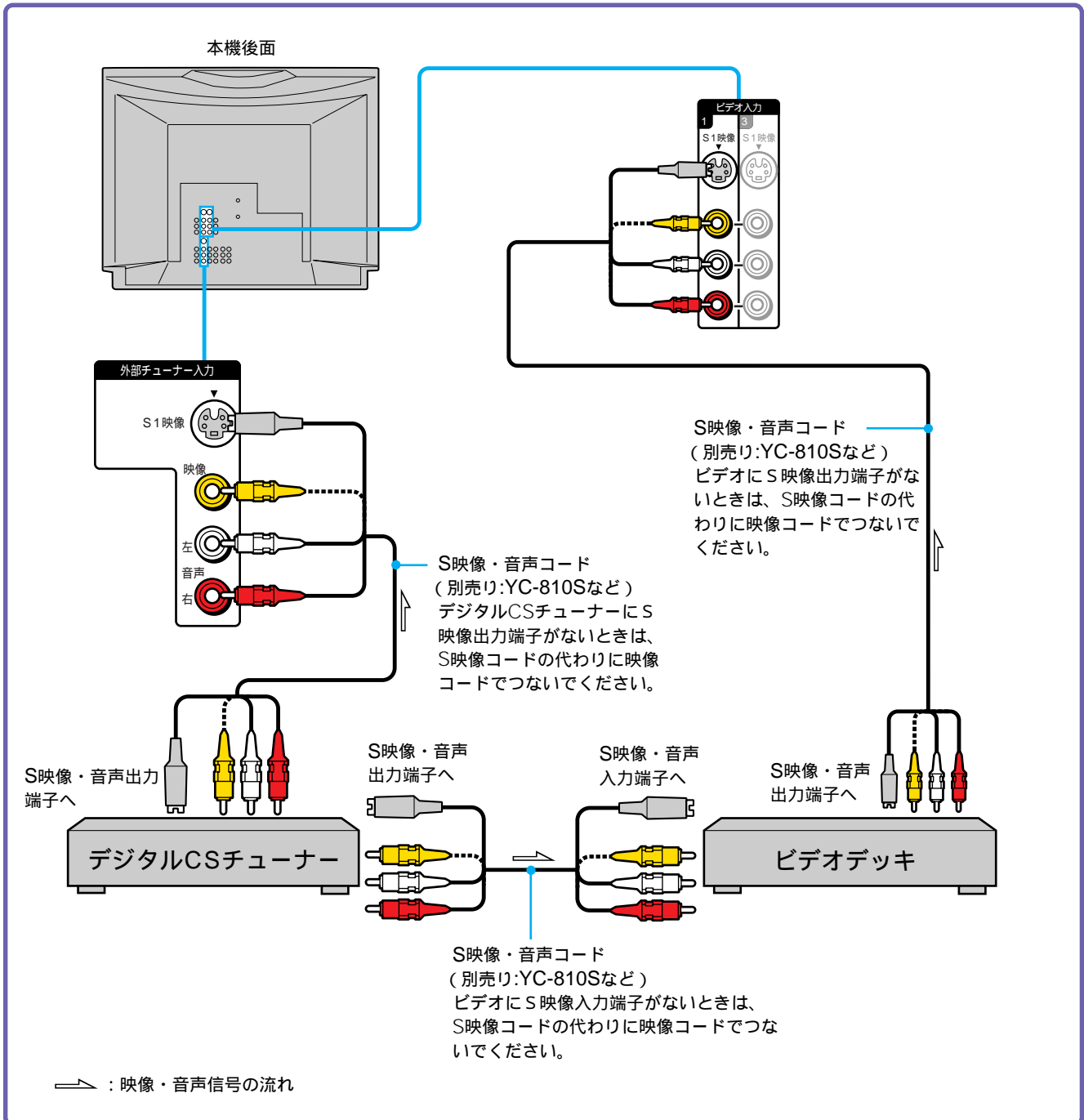
WOWOWを見ているときは、「独立」などの音声モードはテレビ画面に表示されません。デコーダー側で切り換えてください。

ちょっと一言

1998年9月現在、St.GIGAはBS5チャンネルでのみ放送されています。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



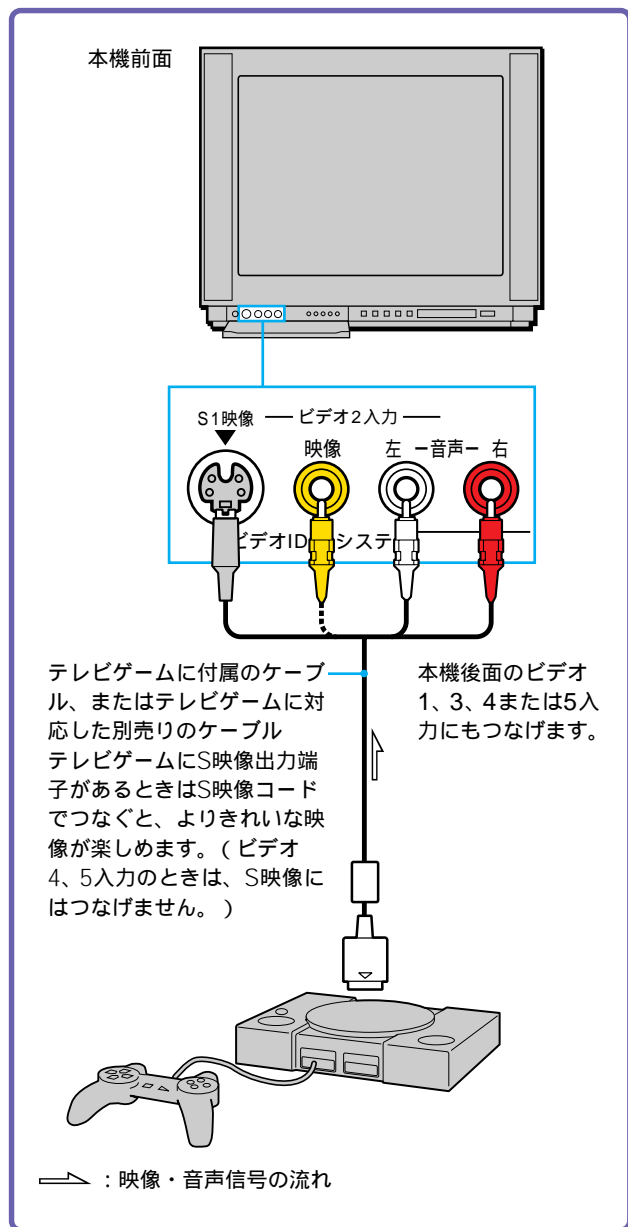
他機との接続

デジタルCS放送を見るには

外部チューナーボタンを押す。
詳しくは、④11ページをご覧ください。

テレビゲームをつ なく

テレビゲームの取扱説明書もあわせてご覧ください。



テレビゲームをするには

ビデオ1/2/3ボタンまたはビデオ4/5ボタンをくり返し押し、テレビゲームをつないだビデオ入力(「ビデオ1」~「ビデオ5」のいずれか)を表示させる。

詳しくは、⑪11ページをご覧ください。

ご注意

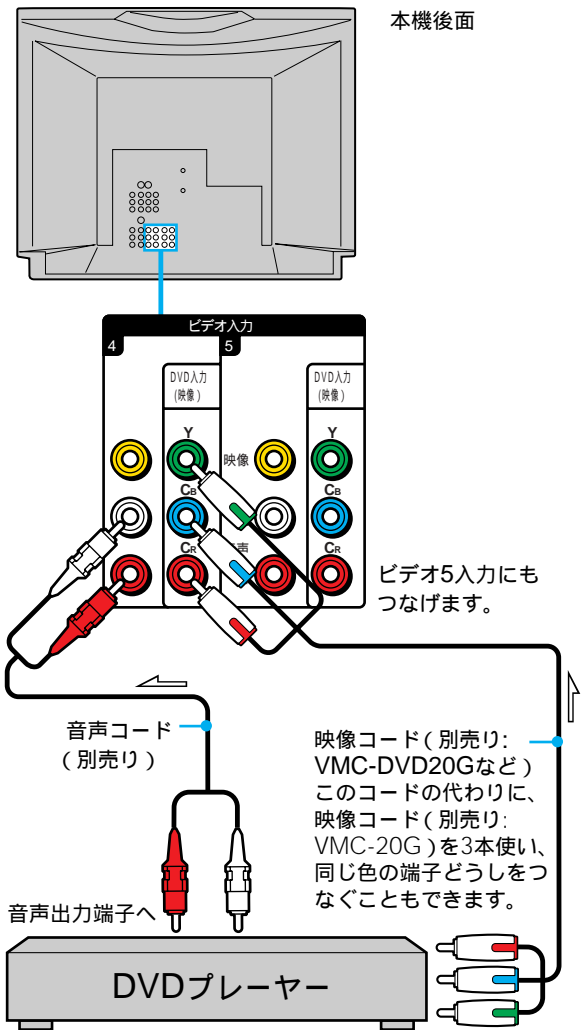
- 電子的なライフルやガン(銃)などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルについて詳しくは、テレビゲームの取扱説明書をご覧ください。または、テレビゲームのお買い上げ店にご相談ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーは本機のビデオ4、5入力（映像）端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。

DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

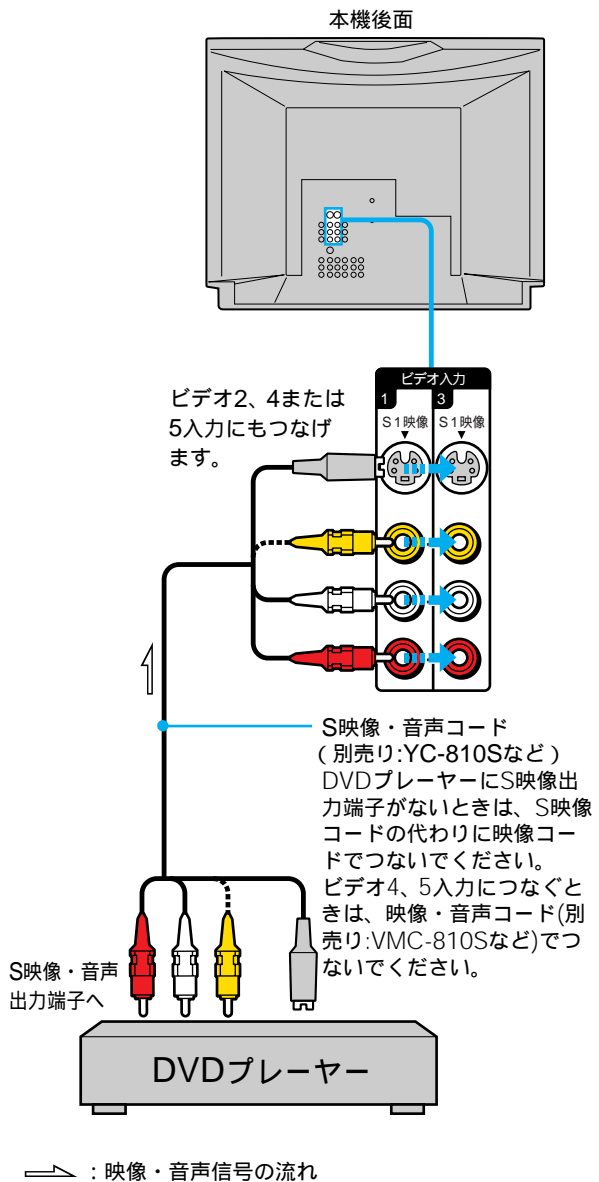


DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ映像端子は、メーカーにより色や名前が異なります。右表のようにつないでください。

DVDプレーヤーの映像端子	本機の映像端子
Y端子	Y端子
C _B 、B-Y、P _B 端子	C _B 端子
C _R 、R-Y、P _R 端子	C _R 端子

→ : 映像・音声信号の流れ

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは



DVDを見るには

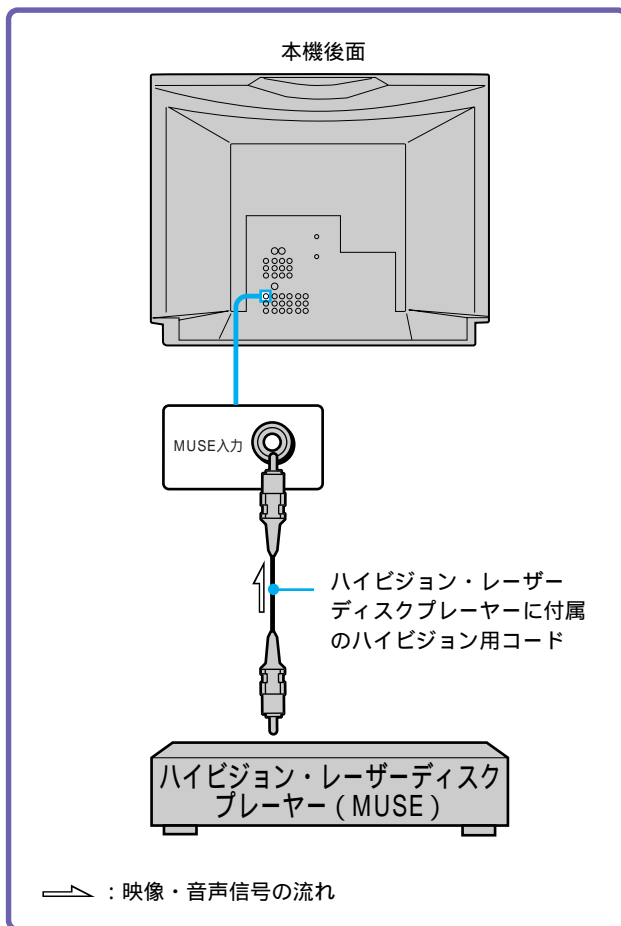
ビデオ1/2/3ボタンまたはビデオ4/5ボタンをくり返し押し、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ5」のいずれか）を表示させる。

詳しくは、P.11ページをご覧ください。

ハイビジョン機器をつなぐ

ハイビジョン・レーザーディスクプレーヤー (MUSE)をつなぎます。本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターで通常のテレビ放送 (NTSC)に変換された画質で、見ることができます。

ハイビジョン・レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



ハイビジョン(MUSE)を見るには

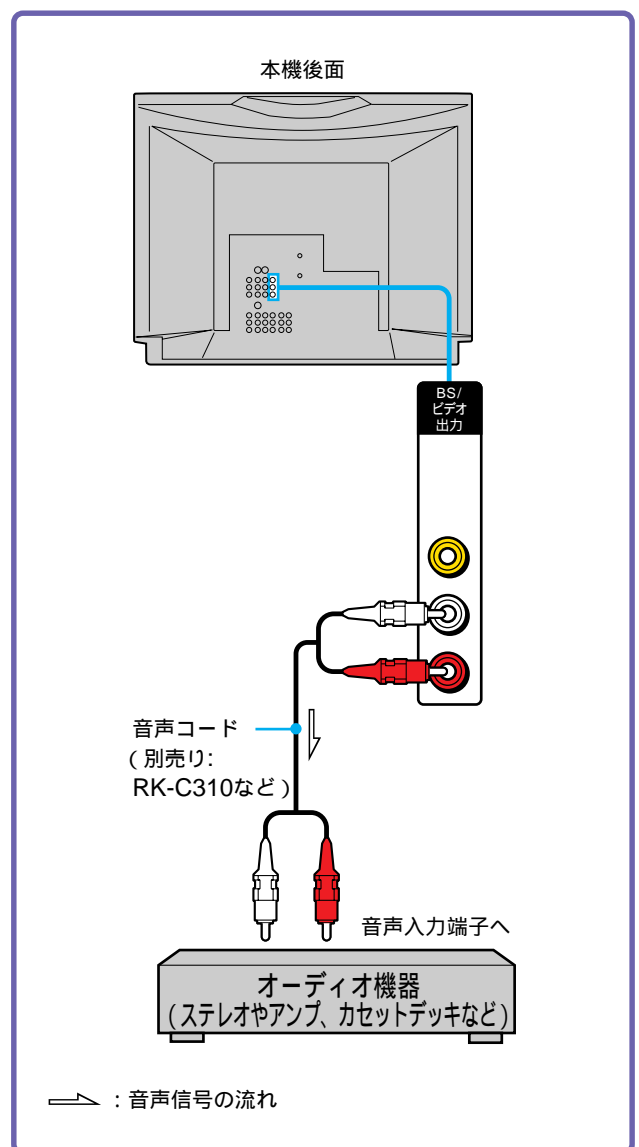
MUSEボタンを押す。

詳しくは、⑪11ページをご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



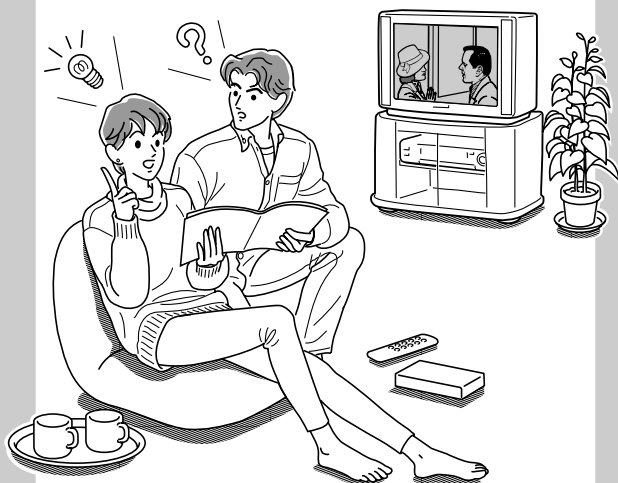
ご注意

ビデオ1入力端子につないだ機器、およびビデオ4、5入力のDVD入力(映像)端子につないだ機器の音声信号は出力されません。

その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。

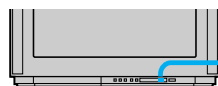
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



故障かな？ と思ったら

自己診断表示 - 画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
















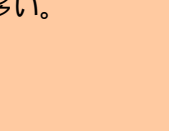
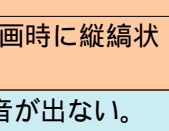
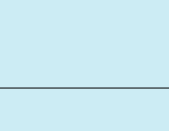
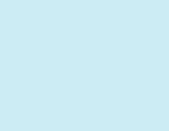

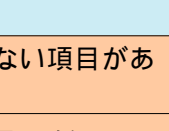
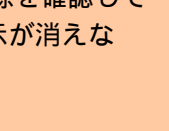

スタンバイ/オフタイマーランプ(赤)

- 1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅...この場合の点滅回数は2回です。
- 2 お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡してから、テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてください。








故障かな？と思ったら (つづき)

本機の症状と対処のしかた

症状	対処のしかた	
画像が出ない	すべてのチャンネルが映らない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードをしっかりとつないでください。 テレビ本体の電源を入れてください。 アンテナ線をしっかりとつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルを合わせ直してください(㊦27ページ)。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた(スタンバイ状態になった)。	<ul style="list-style-type: none"> テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態やつないだ機器からの入力信号がない状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 オフタイマーを設定していませんか?(㊦19ページ)
	つないだ機器の画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 接続コードをしっかりとつないでください。 リモコンの入力切換ボタンを押してください(㊦11ページ)。 S映像入力のときは、メニューの「 (各種切替)」で「S映像:入」にしてください(㊦38ページ)。
BS放送が映らない/乱れる	BS放送が映らない/画像が乱れている。	<p>マンションなどの共同受信システムの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源:切」にしてください(㊦30ページ)。 サテライト分波器でVHF/UHFとBSを分けてください(㊦25ページ)。 ケーブルの芯線をコネクタに正しく差し込んでください。 <p>BSアンテナを直接つないでいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください(㊦30ページ)。 BSアンテナ側は防水型のケーブルでつないでください。 アンテナの大きさが適切かを確認してください。 アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 アンテナの方向・角度を調整してください(㊦31ページ)。 <p>複数のBS機器をサテライト分波器でつないでいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> BSアンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> BSの放送時間を確認してください。 雨や雪が降ると、映りが悪くなる場合があります。 BS専用のケーブルを使ってください(㊦26ページ)。 アンテナコネクタ(パルーン)を使っていないかを確認してください。 設定メニューの「 (BS設定)」で「デコーダー入力切換」を確認してください(㊦32ページ)。 WOWOWなどのスクランブル放送でないかを確認してください。
	BS放送のチャンネルが切り換わらない。	<ul style="list-style-type: none"> BS固定にしていないかを確認してください(㊦17ページ)。

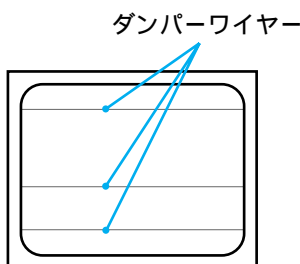
症状		対処のしかた
きれいに映らない	画像が二重、三重になる。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線をしっかりつないでください。 アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 アンテナの寿命を確認してください(通常3~5年、海辺では1~2年)。
	斑点や点模様が走る。 	<ul style="list-style-type: none"> ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けている。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。 	<ul style="list-style-type: none"> お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(④6ページ)。 メニューの「」(画質/音質)で画質を調整してください。 「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります(④8ページ)。
	画面がまぶしい。 	<ul style="list-style-type: none"> お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(④6ページ)。
	画面の一部に色むらがある。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 テレビをしばらく見た後、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。
	画像が傾いている、上下にかたよっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「」(初期設定)で「方角補正 回転」と「方角補正 上下」を調整してください(④35ページ)。
	縞状のノイズが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。
音が出ない/雑音が多い	画像は出るが、音が出ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量が下がりがきいていないか確認してください。 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか、音量+ボタンを押して表示を消してください。 ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 設定メニューの「」(音声設定)で「オートステレオ」を「切」にしてください(④16ページ)。
メニューが選べない/表示が消えない	メニューで選べない項目がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 暗い灰色で表示されている項目は選べません(見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています)。
	「BSアンテナ電源を確認してください」の表示が消えない。 	<ul style="list-style-type: none"> マンションなどの共同受信システムのときは、設定メニューの「」(BS設定)で「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください(④30ページ)。 BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら (つづき)

症状	対処のしかた	
画面が切り換わる/ つぶれて見える	「ワイドモード」が「オート」のときに画面モードが勝手に切り換わる。	<ul style="list-style-type: none"> 横縦比の信号(ID-1/S1方式)が入った映像は、自動判別して、縦方向を圧縮した横縦比16:9のワイド画面にするためです。
	「ワイドモード」が「入」のときに画面がつぶれて見える。	<ul style="list-style-type: none"> 通常のテレビやBS放送など横縦比4:3の映像で、「ワイドモード」を「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えることがあります。メニューの「 (各種切替)」で「ワイドモード」を「オート」にしてください(㊟9ページ)。 ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、横縦比の信号が含まれていないため、従来から入っていた黒帯部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。メニューの「 (各種切替)」で「ワイドモード」を「オート」または「切」にしてください(㊟9ページ)。
テレビから 異音が出る	「ピシッ」というきしみ音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	<ul style="list-style-type: none"> 地磁気などの影響を取り除く消磁回路の動作音で、本機に影響はありません。
	テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする。	<ul style="list-style-type: none"> テレビ内部で発生する静電気が原因で、本機に影響はありません。
画面が 一瞬光る	<ul style="list-style-type: none"> ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。本機の性能その他に影響はありません。 	
リモコンが働かない	リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池を交換してください。 電池のを正しい向きに入れてください。 本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、離して置いてください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	<p>ダイレクト選局の場合(㊟33ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 <p>10キー選局の場合(㊟33ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、/選局を押してください。 チャンネル数字ボタンに続けて/選局を押してください。

画面に細い横線が出たら(ダンパーワイヤー)

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は下図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。



ブラウン管表面のお手入れについて

ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナー、または研磨剤の入っていない中性洗剤を水で薄め、柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。

表面を傷つけることがあるため、固い布の使用や、から拭きはやめてください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗剤や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗剤も使わないでください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KV-29DR5, KV-34DR5

故障の状態: できるだけくわしく

購入年月日:

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式 NTSC方式
 受信チャンネル VHF 1~12チャンネル
 UHF 13~62チャンネル
 CATV C13~C35(ケーブルテレビ放送
 会社との受信契約が必要)

ブラウン管*

BS1、3、5、7、9、11、13、15
 KV-29DR5:
 FDトリニオン104度偏向29型
 KV-34DR5:
 FDトリニオン105度偏向34型

* テレビの型(29型など)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

画面寸法

KV-29DR5:54.0×40.5、67.5cm対角
 KV-34DR5:64.0×48.0、80.0cm対角
 (幅×高さ、対角径)

使用スピーカー

ウーファー12cm×2、
 フルレンジスピーカー
 (5×9cm楕円)×2

音声出力

音声実用最大出力(EIAJ準拠)
 フルレンジスピーカー 7W×2(1kHz,
 10%, 8Ω)
 ウーファー 7W×2(100Hz, 10%, 8Ω)

入出力端子

アンテナ端子 VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター
 (コンバーター用電源出力、DC15V最大
 4W)

ビデオ1、2、3入力端子

S1映像:
 4ピンミニDIN
 Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
 C:0.286Vp-p(パースト信号) 75Ω
 映像:ピンジャック、1Vp-p、
 75Ω、不平衡、同期負
 音声:ピンジャック、2チャンネル、
 500mVrms、インピーダンス
 47kΩ

ビデオ4、5入力端子

DVD入力(映像):ピンジャック
 Y:1Vp-p(0.3V負同期付き)
 C_B/C_R:±350mVp-p
 入力インピーダンス 75Ω
 映像:ピンジャック、1Vp-p、
 75Ω、不平衡、同期負
 音声:ピンジャック、2チャンネル、
 500mVrms(最大入力 -12dB)
 入力インピーダンス 47kΩ以上

外部チューナー入力端子

S1映像:
 4ピンミニDIN
 Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
 C:0.286Vp-p(パースト信号) 75Ω
 映像:ピンジャック、1Vp-p、
 75Ω、不平衡、同期負
 音声:ピンジャック、2チャンネル、
 500mVrms、インピーダンス
 47kΩ以上

BS/ビデオ出力端子 映像:ピンジャック、1Vp-p、
 75Ω、不平衡、同期負
 音声:ピンジャック、2チャンネル、
 500mVrms
 インピーダンス 4.7kΩ以下
 テレビ放送の音声の100%変調
 時、またはBS放送、MUSE入力
 の最大出力 -12dB時の数値で
 す。

ヘッドホン端子

ステレオミニジャック
 負荷インピーダンス16Ω以上

検波出力端子

ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p

ビットストリーム出力端子

ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p

BSデコーダー入力端子

映像:ピンジャック、1Vp-p、
 75Ω、不平衡、同期負
 音声:ピンジャック、2チャンネル、標準
 入力500mVrms、インピーダンス
 47kΩ以上

MUSE入力端子

0.4Vp-p(FM) 入力インピーダンス
 75Ω

電源部・その他

消費電力

KV-29DR5:
 179W(リモコン待機時0.4W)
 KV-34DR5:
 209W(リモコン待機時0.4W)

年間消費電力量**

KV-29DR5:227kW・h/年
 KV-34DR5:265kW・h/年

**年間消費電力量とは:省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4~5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法

KV-29DR5:74.6×56.9×52.6cm
 KV-34DR5:87.1×66.7×57.6cm
 (幅×高さ×奥行き)

質量

KV-29DR5:約53.6kg
 KV-34DR5:約82.9kg

電源

付属品

AC100V、50/60Hz
 リモートコマンダー RM-J225(1)
 乾電池 単3形(2)
 アンテナ接続ケーブル(1)
 取扱説明書(1)
 保証書(1)
 ソニーご相談窓口のご案内(1)
 安全のために(1)
 安全点検のおすすめ(1)

別売りアクセサリ

テレビスタンド

KV-29DR5:
 SU-F200P、SU-F200、SU-28V
 KV-34DR5:
 SU-F300P、SU-F300

ステレオヘッドホン

MDR-AV55

テレビラック固定ベルト

BLT-R10

BSアンテナなど

接続ケーブルなど

- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース(飛び越し走査)

走査線の525本のうち、まず奇数番目の走査線(262.5本)を1/60秒かけて描き(この1画面を1フィールドという)、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線(262.5本)を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面(フレーム)を作っていく飛び越し走査のことです。本機のDRC-MFモード切替ボタンで選べる「DRC4倍密(標準)モード」は、走査線を通常のNTSC映像の2倍の1050本にして、1フィールド目で走査線の525本全部(本来の1フレーム分)を1/60秒で描き、次のフィールドは、1フィールド目の間を525本で飛び越し走査します。

カ行

ケーブルテレビ(CATV)

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

検波

放送衛星から送られてくるFM電波を復調することです。

サ行

三次元Y/C分離回路

本機で使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間BS放送(WOWOWなど)では、契約者以外は視聴できないように、電波にスクランブルをかけて(暗号化して)送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、スクランブルを解除する機器(デコーダーなど)が必要です。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デジタル・リアリティー・クリエーション: マルチファンクション(DRC-MF)

テレビ放送やビデオなどのNTSC映像を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって、高精細なリアル映像につくり換えます。従来の線形補間方式の処理とは全く異なり、動画部分の輪郭のボケが少ないスッキリとした画像になり、水平方向の密度も2倍にします。また、映像によって、走査線1050本で飛び越し走査する「DRC4倍密(標準)モード」と、525本で順次走査する「DRCプログレッシブモード」を切り換えられます。

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声デジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

独立音声放送

民間BS放送(St. GIGAなど)の中には、1つのチャンネルで映像の音声とは別に、音声だけの放送が行われている場合があります。これが独立音声放送です。

ハ行

ビットストリーム

BS放送で送られてくる電波のデジタル信号(音声とデータ)です。データ信号は、文字放送などに使われています。

プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項目を参照)をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。本機のDRC-MFモード切替ボタンで選べる「DRCプログレッシブモード」は、走査線525本の順次走査を行い、静止画の文字やグラフィック、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた映像にします。

数字・アルファベット順

BSデコーダー(WOWOW)

WOWOWなど民間BS放送の電波にかかったスクランブルを解除する機器です。

ID-1方式(ビデオID-1システム)

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1~5入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

MUSE

ハイビジョン放送の帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョン信号を8MHzに圧縮して、BS放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

MUSE-NTSC(M-N)コンバーター

MUSE方式のハイビジョン放送を現行の放送方式(NTSC)に変換するための機器です。画質は現行の放送方式(NTSC)と同等になります。本機はMUSE-NTSCコンバーターを内蔵しています。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会(National Television System Committee)が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

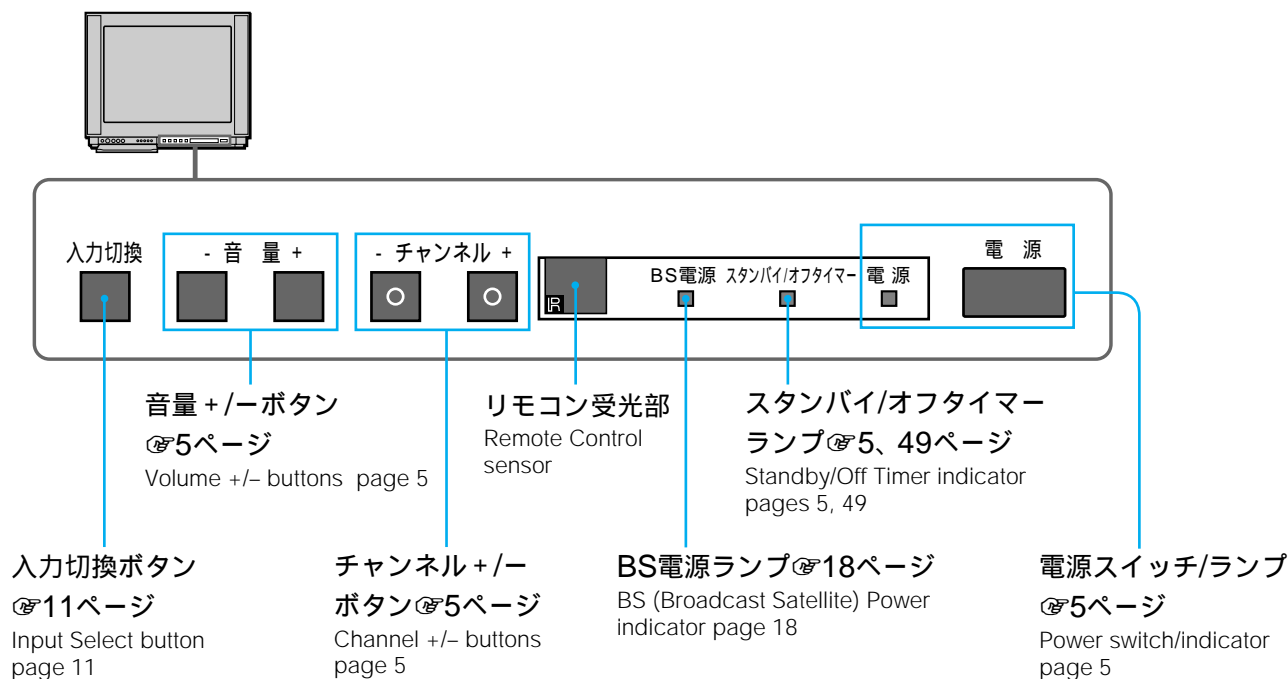
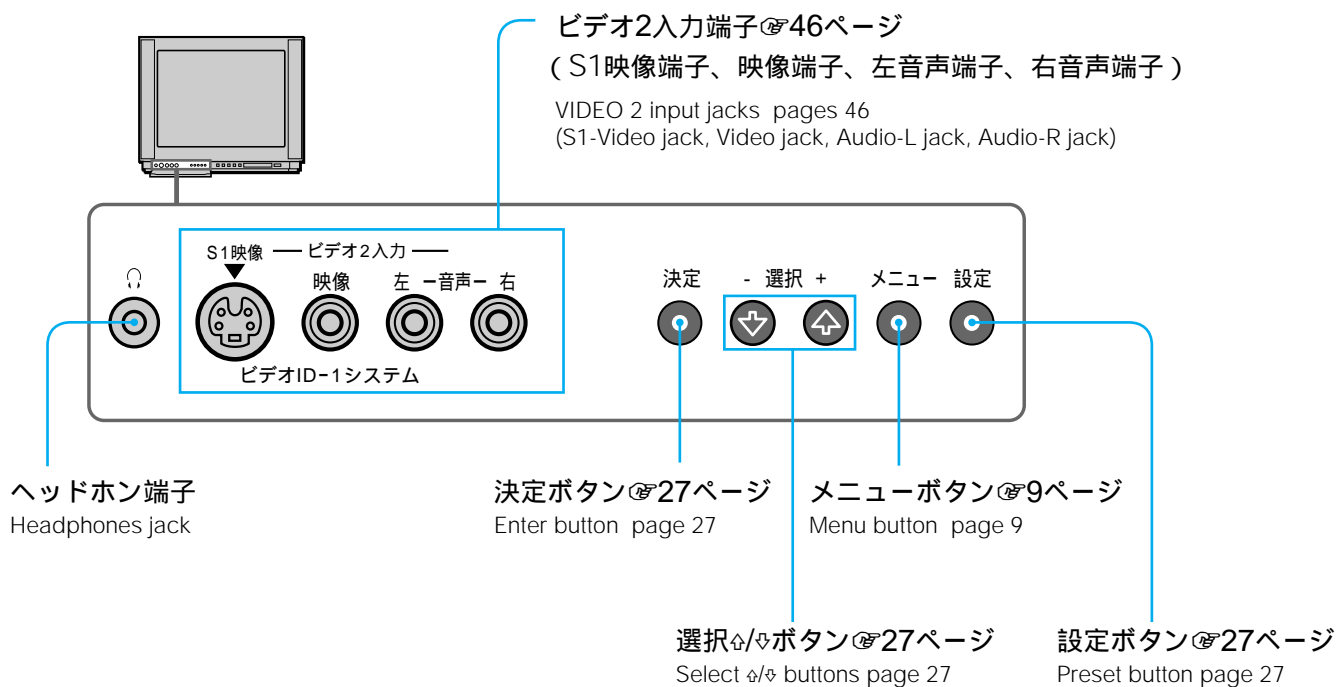
S1方式(S1映像)

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の横縦比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名前です。本機はS1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前/

Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel



リモコン/Remote Control

画面表示ボタン ④4ページ

Display button page 4

消音ボタン ④4ページ

Mute button page 4

お好み画質ボタン ④6ページ

Favorite Picture button page 6

DRC-MFモード切

換ボタン ④7ページ

DRC-MF (Mode Selection) button page 7

メニュー/▲/▼/決定ボタン

④9ページ

Menu/▲/▼/Enter buttons page 9

チャンネル数字ボタン

④5ページ

Channel Number buttons page 5

BSチャンネルボタン

④5、17ページ

BS (Broadcast Satellite) Channel buttons pages 5, 17

音量 +/- ボタン ④5ページ

Volume +/- buttons page 5

二重音声ボタン ④16ページ

Audio mode (Bilingual) button page 16

電源スイッチ ④5ページ

Power switch page 5

消費電力ボタン ④8ページ

Power Saving button page 8

オフタイマーボタン ④19ページ

Off Timer button page 19

BS固定ボタン ④17ページ

BS Recording button page 17

入力切換ボタン ④11ページ

ビデオ1/2/3ボタン

ビデオ4/5ボタン

MUSEボタン

外部チューナーボタン

Input Select buttons page 11

Video 1/2/3 button

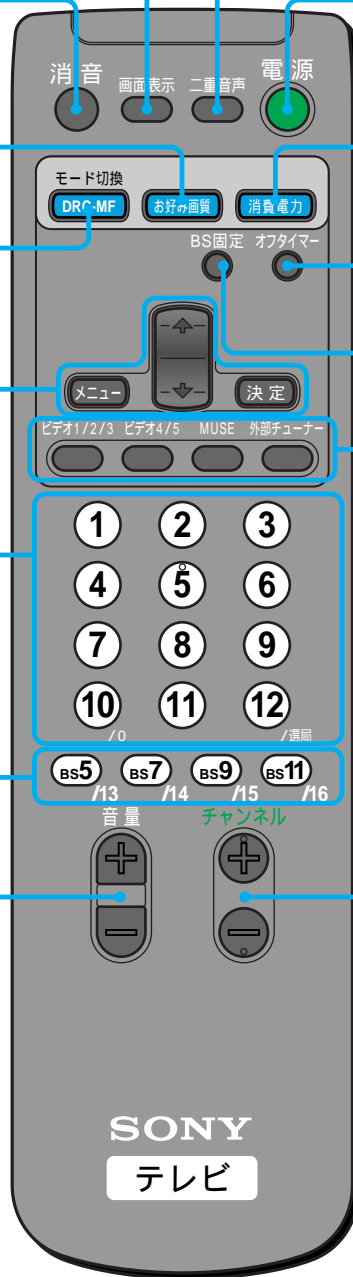
Video 4/5 button

MUSE button

External Tuner button

チャンネル +/- ボタン ④5ページ

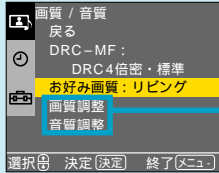
Channel +/- buttons page 5



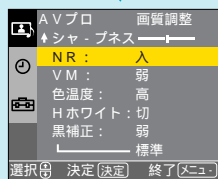
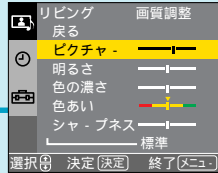
メニュー一覧

リモコンの **メニュー** を押すと出るメニュー

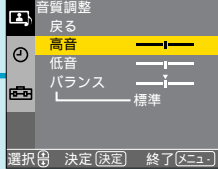
画質/音質
(27ページ)



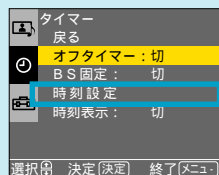
画質調整 (27ページ)



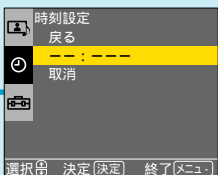
音質調整 (27ページ)



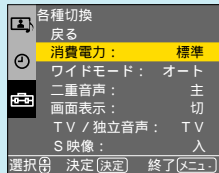
タイマー
(27ページ)



時刻設定
(27ページ)

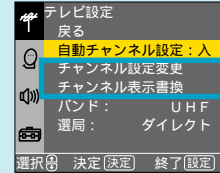


各種切換 (27ページ)

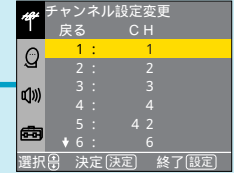


本体の **設定** を押すと出るメニュー

テレビ設定
(27ページ)



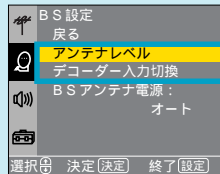
チャンネル設定変更
(27ページ)



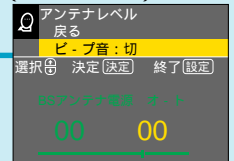
チャンネル表示書換
(29ページ)



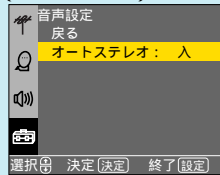
BS設定
(30ページ)



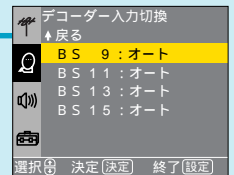
アンテナレベル
(31ページ)



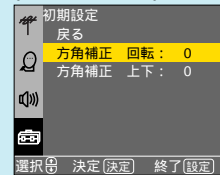
音声設定
(16ページ)



デコーダー入力切換
(32ページ)



初期設定
(35ページ)



- メニューは▲/▼で選び、決定ボタンで決定します。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 灰色で表示される部分は選べません。

索引

五十音順

あ行

衛星放送	BS参照
お好み画質	6
オフタイマー	19
音質調整	14
音声モード(ハイビジョン放送)	17

か行

各部の名前	56
画質調整	12
画像の傾き補正	35
ケーブルテレビ	28
ゲーム	46

さ行

時刻表示	19
自己診断表示	49
主音声	16
消音	4
消費電力	8
接続する	
オーディオ機器	48
端子の名前とはたらき	36
デジタルCSチューナー	45
テレビ(VHF/UHF)アンテナ	24
テレビゲーム	46
ハイビジョン機器	48
早わかり	22
ビデオ機器	38
BSアンテナ	26
BSデコーダー(WOWOW)	42
DVDプレーヤー	47
設定する	
選局方法	33
チャンネル	27
S映像切り換え	38
節電	8

た行

ダイレクト選局	33
チャンネル合わせ(設定)	27
自動設定	27
手動設定	28
ダイレクト選局	33
10キー選局	33
チャンネル表示書き換え	29
調整	
音質調整	14
画質調整	12
BSアンテナレベル	31
デジタル・リアリティー・クリエーション	
:マルチファンクション(DRC-MF)	7
デジタルCS放送	45
テレビ(VHF/UHF)アンテナの接続	24
テレビゲーム	46
独立音声放送(St.GIGA)	44

な行

二重音声	16
入力切換	11

は行

ハイビジョン放送	
音声切換	17
見る	5
録画のための接続	39
ビデオ	
接続する	38
見る	11
副音声	16
付属品	21

ま行

メニュー一覧	58
--------	----

ら行

リモコン	
各部の名前	57
電池を入れる	21

わ行

ワイドモード	9
--------	---

数字・アルファベット順

数字

10キー選局	33
--------	----

アルファベット

BS(衛星放送)	
裏録画する	17
設定する	30
見る	5
予約録画	17
録画のための接続	39
BS固定	17
BSアンテナ	26
接続する	26
アンテナレベルを調整する	31
BSアンテナ電源	30
BSデコーダー(WOWOW)	42
CATV	28
DRC-MF	7
DVDプレーヤー	47
S映像切り換え	38
St.GIGA	44
VHF/UHFアンテナ	24
VHF/UHFのチャンネル設定	27
WOWOW	42

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。